

2021年度

看護学科	1 学年	後期	病理学1
理学療法学科	1 学年	後期	病理学
作業療法学科	1 学年	後期	病理学

医学部附属フロンティア医学研究所 組織再生学部門

教授 三高 俊広

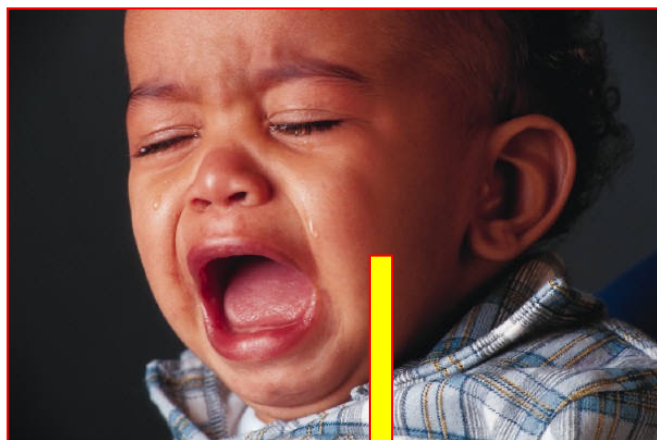
第2章：細胞・組織の障害と修復

10月11日（月）

- 細胞の構造と機能
- 細胞適応
- 細胞増殖
- 細胞死
- 細胞障害

10月18日（月）

- 組織再生
- 組織修復
- 創傷治癒
- 異物処理機構

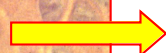


ヒト



臓器・組織
Organ Tissue

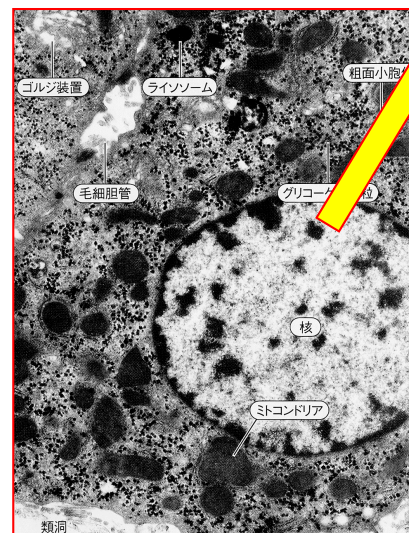
皮膚



細胞
Cell



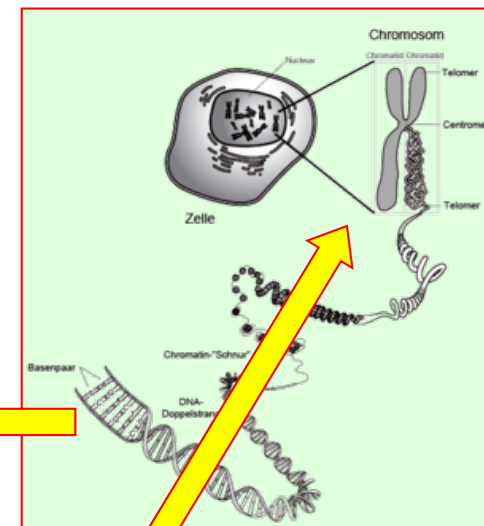
扁平上皮細胞



肝細胞



遺伝子
Gene



染色体
Chromosome

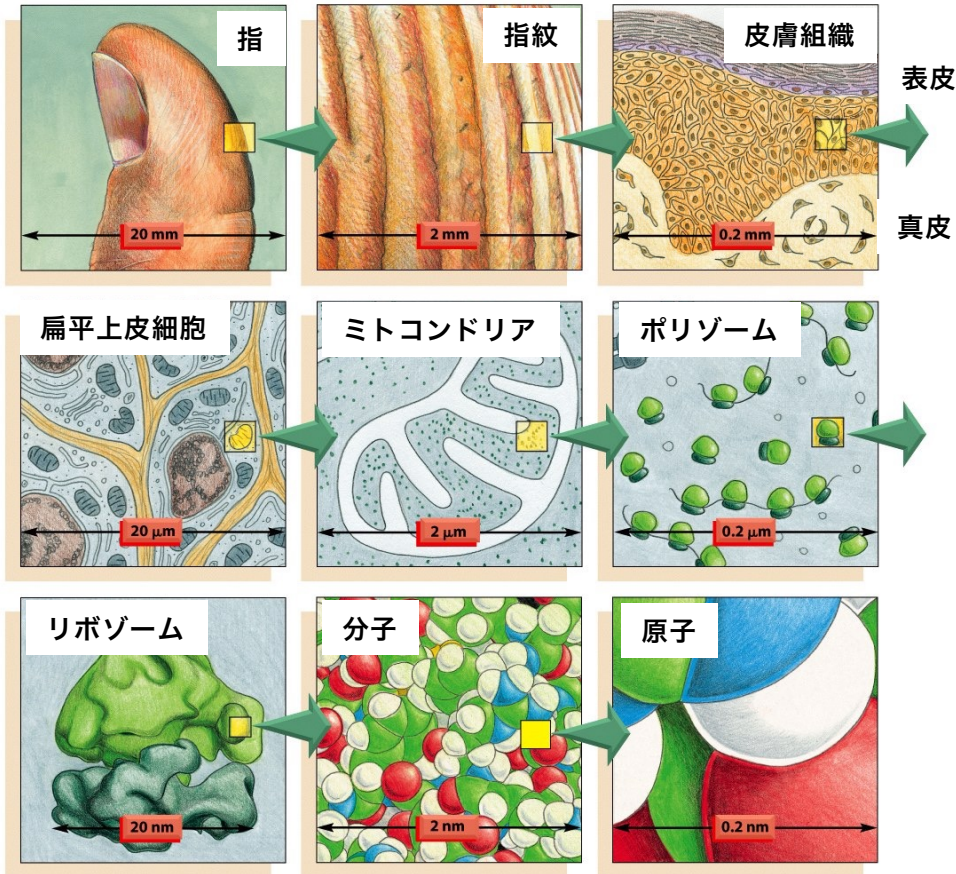


細胞内小器官
Organelle

核
Nucleus

生体構成物の大きさの比較

生体～原子



電子顕微鏡でも見えない

ブドウ糖
(Glucose)

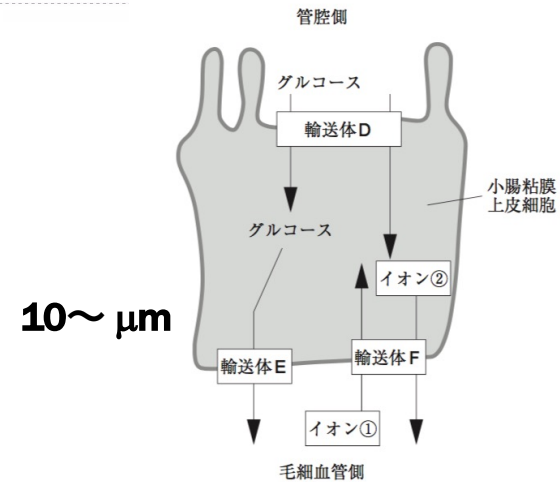
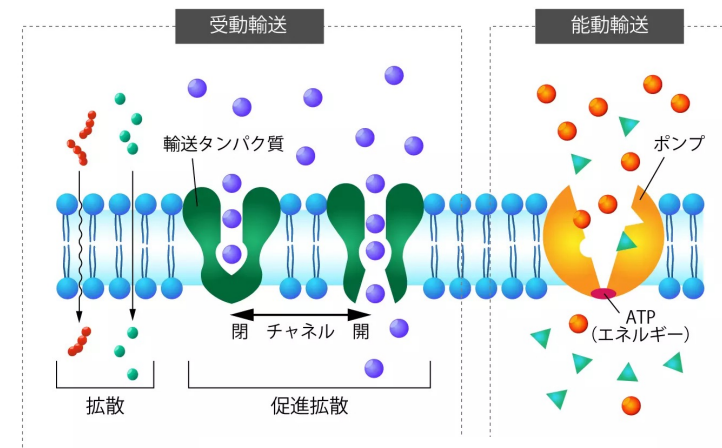
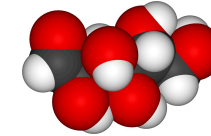
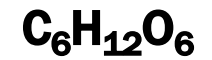


Figure 9-1 Molecular Biology of the Cell (© Garland Science 2008)

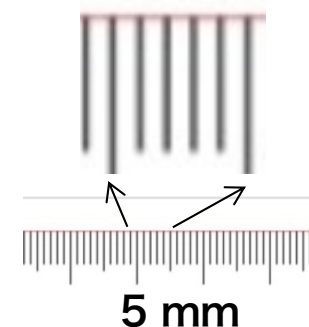
大きさの比較

組織を見るときを目安

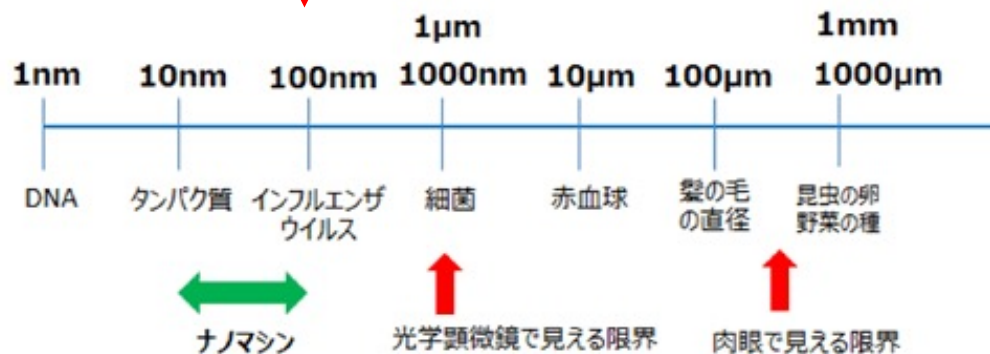
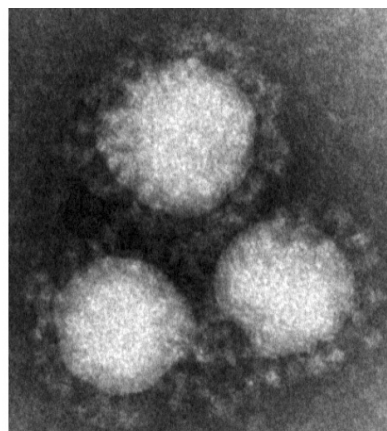
卵細胞	200 μm (0.2 mm)
赤血球	6~8 μm (0.008 mm)

ヒトの目で識別出来る大きさ

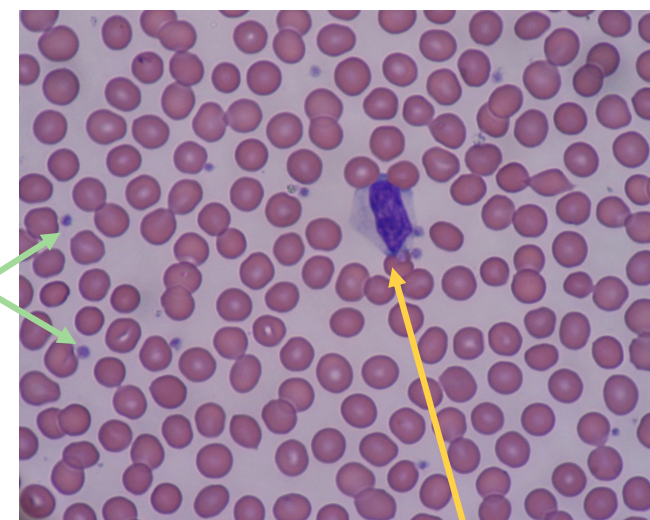
1/10 mm程度



コロナウイルス



血小板



赤血球

白血球

Wikipedia

人体を構成する物質

- 水 60~70% (新生児約80%)

- 有機化合物 (炭素を持つ)

タンパク質	15~20%	アミノ酸
脂質	13~20%	脂肪酸
糖	0.5~ 1%	単糖類

食物



消化



吸収



再合成

細胞が取り込める大きさ
まで小さくする

- ビタミン

- 無機化合物 (ミネラル) 5%

ナトリウム (Na) ↔ カリウム (K)

電解質バランス (血圧・心筋収縮・神経伝達)

カルシウム (Ca) →

骨・歯形成

リン (P) →

骨、エネルギー (ATP)

鉄 (Fe) →

赤血球 (貧血)

亜鉛 (Zn) →

味覚

銅 (Cu) →

血球減少、成長障害

マグネシウム (Mg) →

補酵素、骨形成

読んで細胞の活動が分かる

作者： 清水 茜
講談社



人間の体内にある細胞（特に免疫系）を擬人化した作品

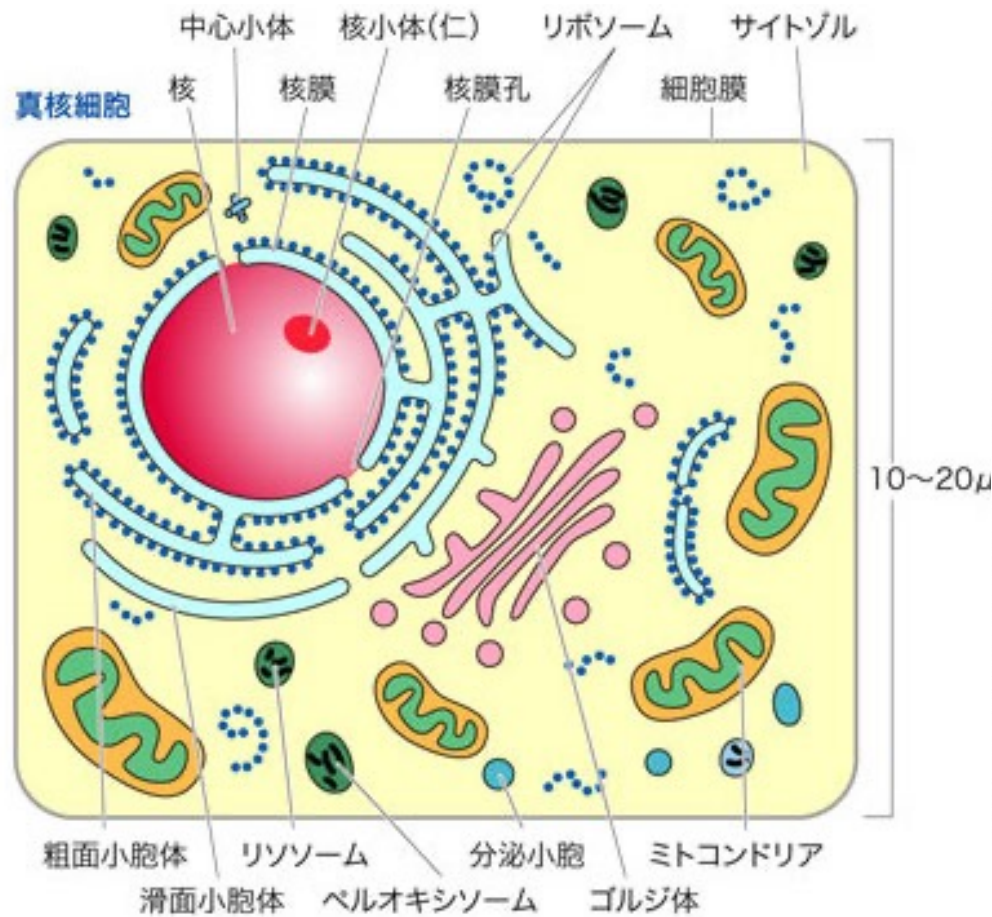
アニメ化



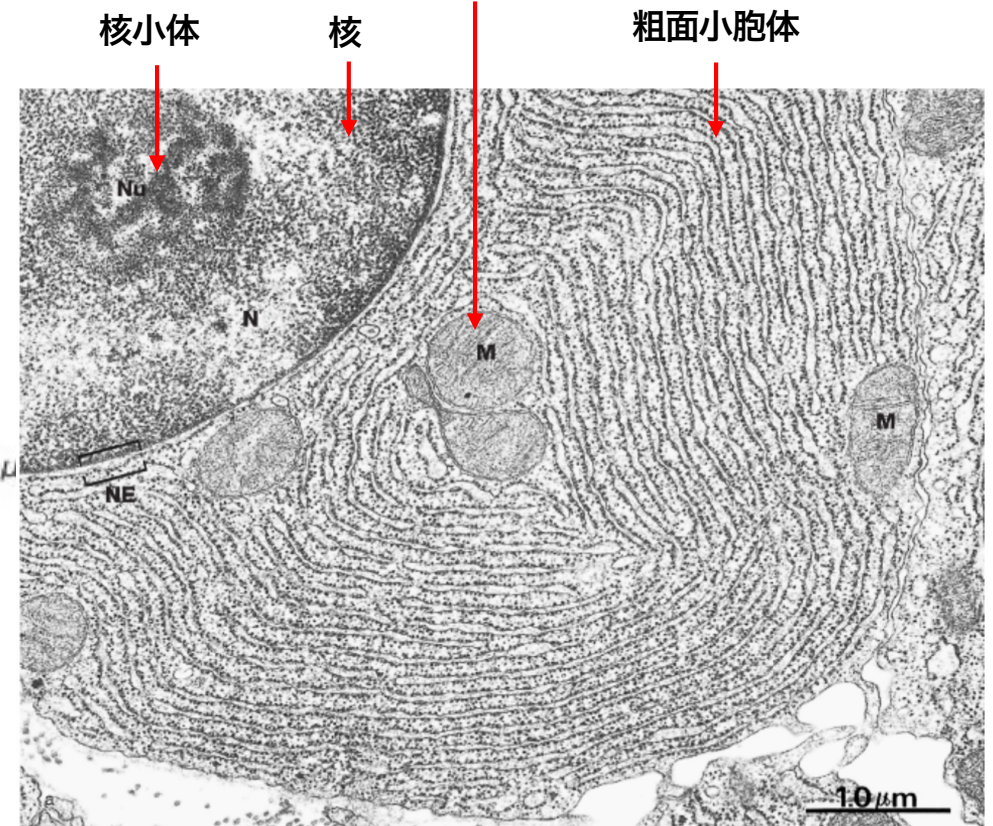
教科書に書いてあることは覚えづらいが、
面白いことと関連すると記憶に残る

細胞の構造と機能

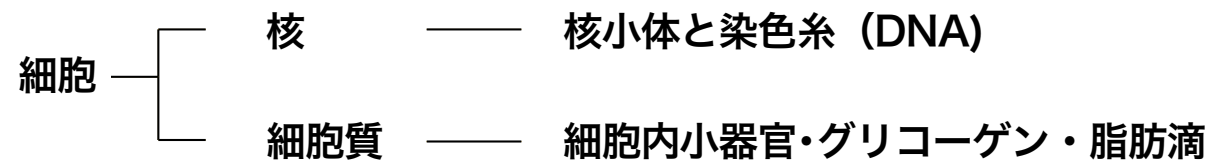
動物細胞の基本構造



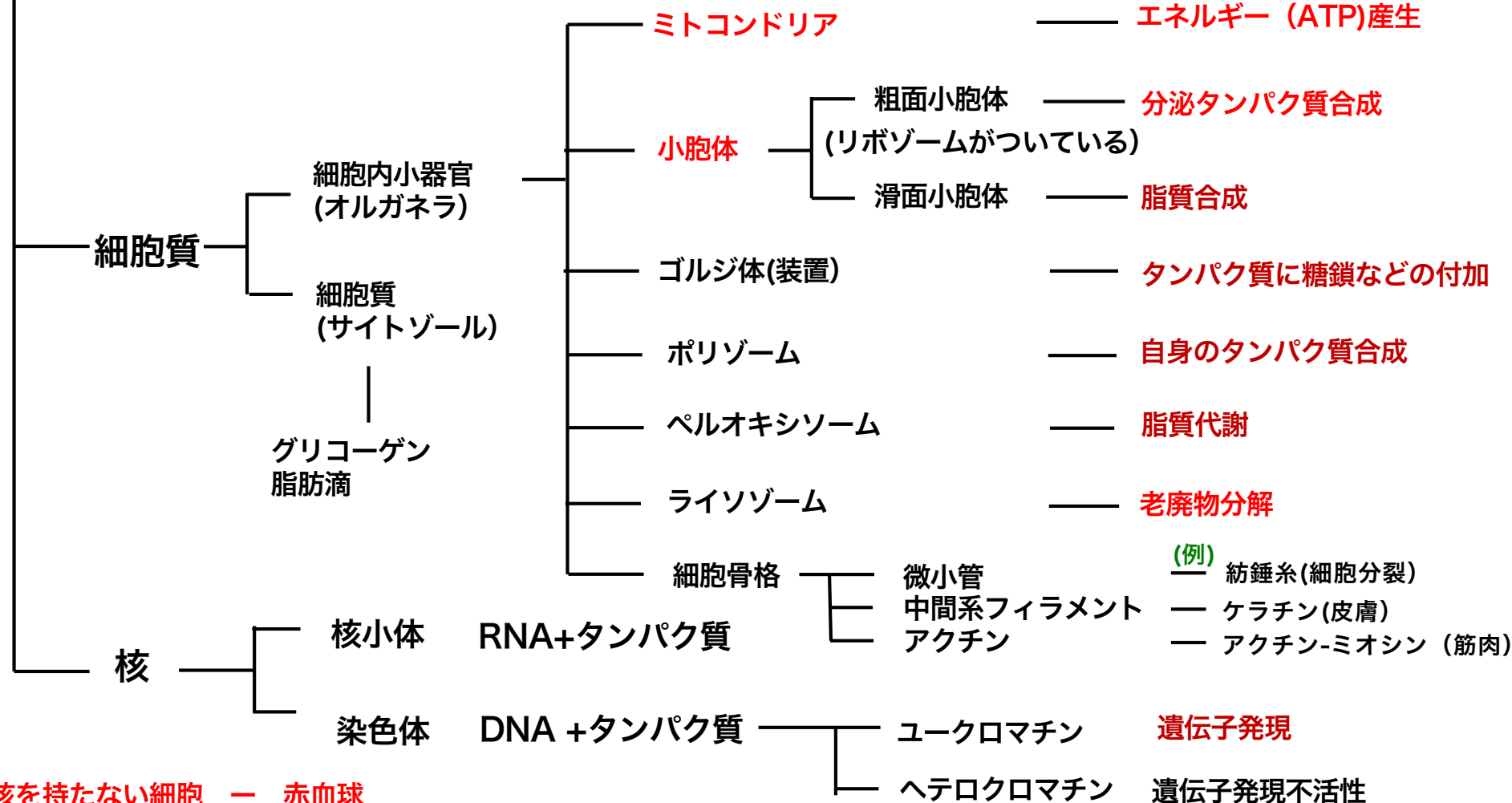
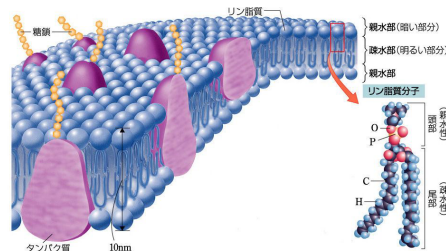
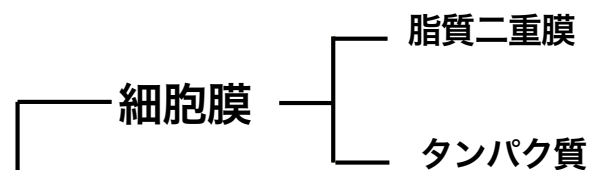
ミトコンドリア



WHEATER'S Functional Histology, 5th Ed

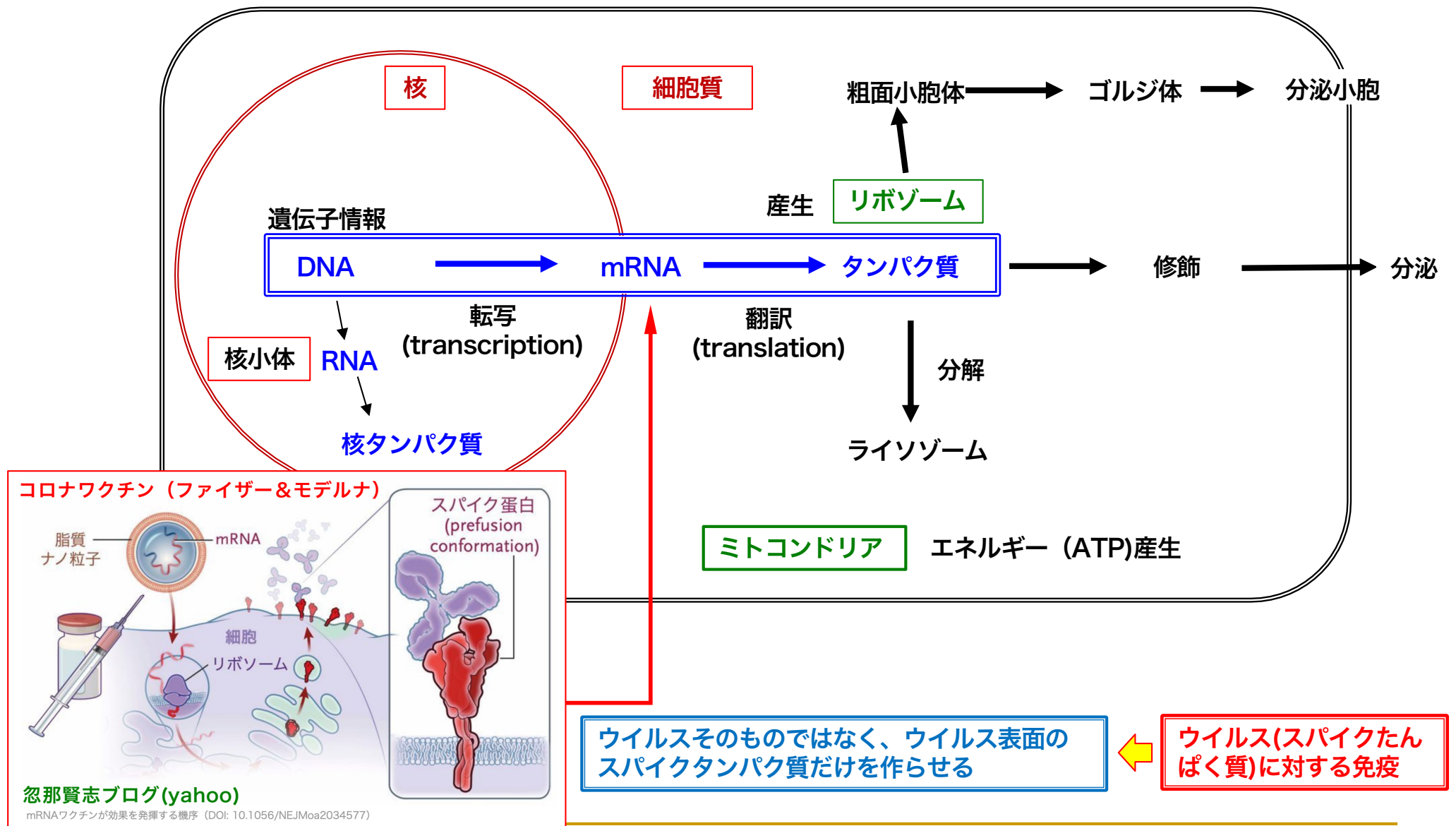


細胞

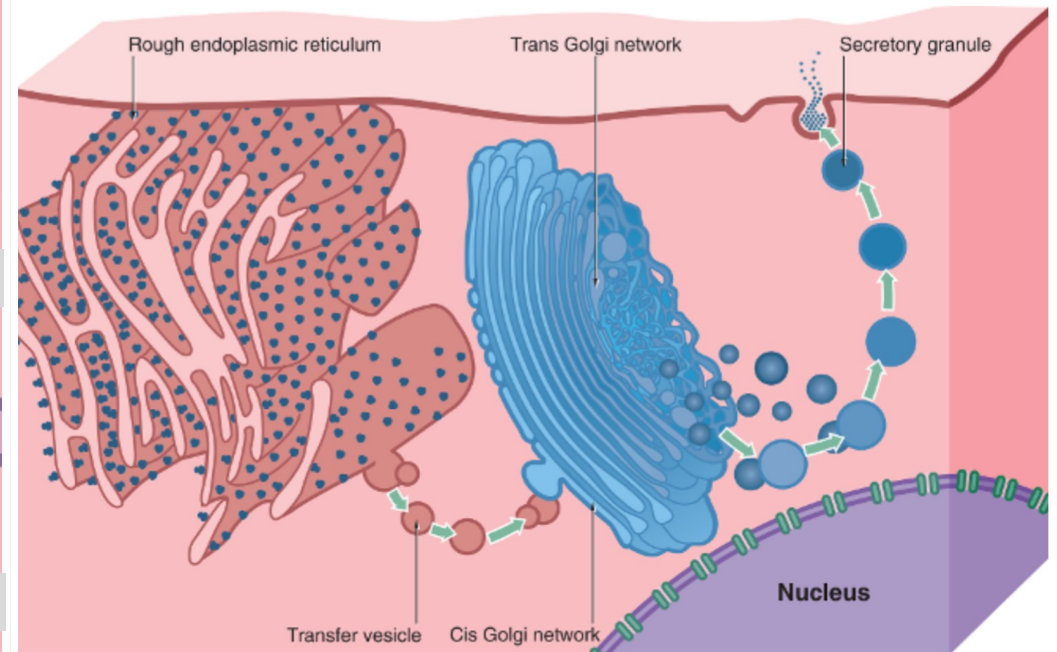
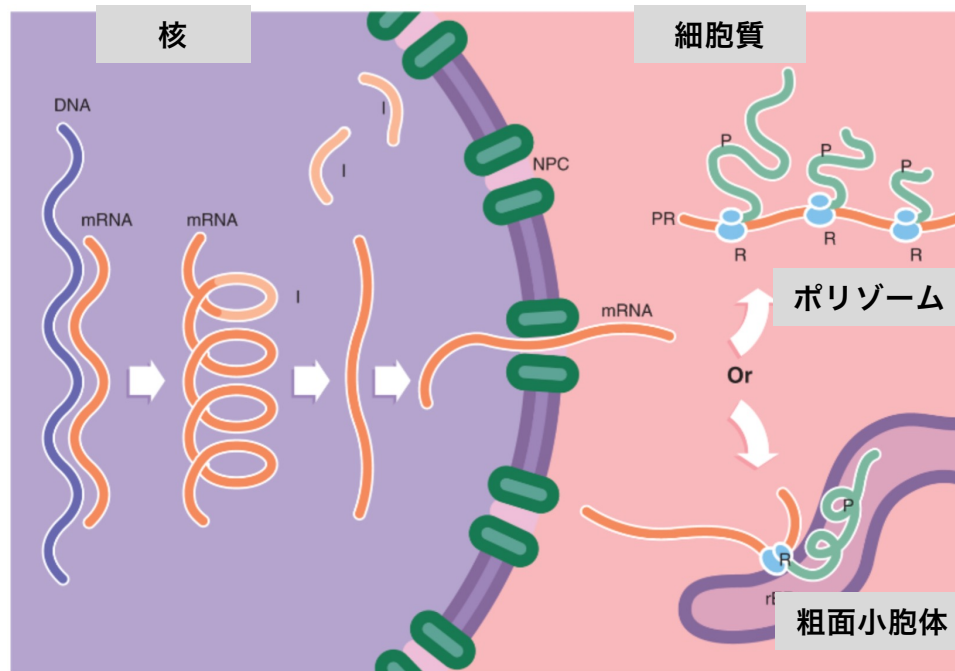


◆ 核を持たない細胞 — 赤血球

セントラルドグマ

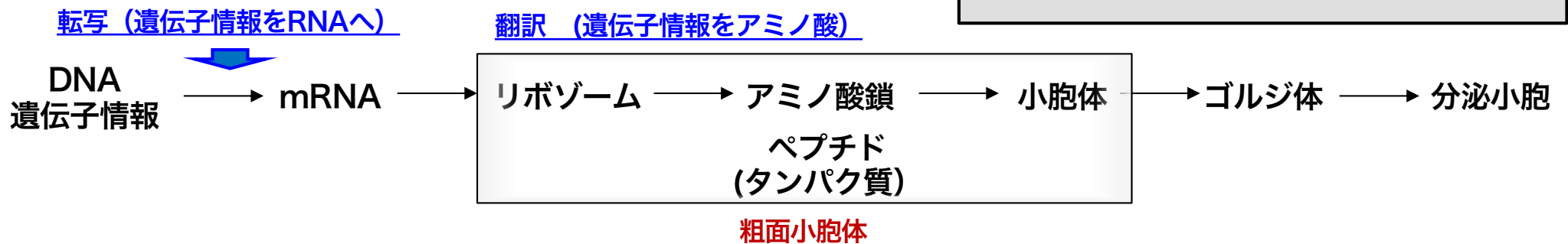


遺伝子情報からタンパク質の分泌までの経路



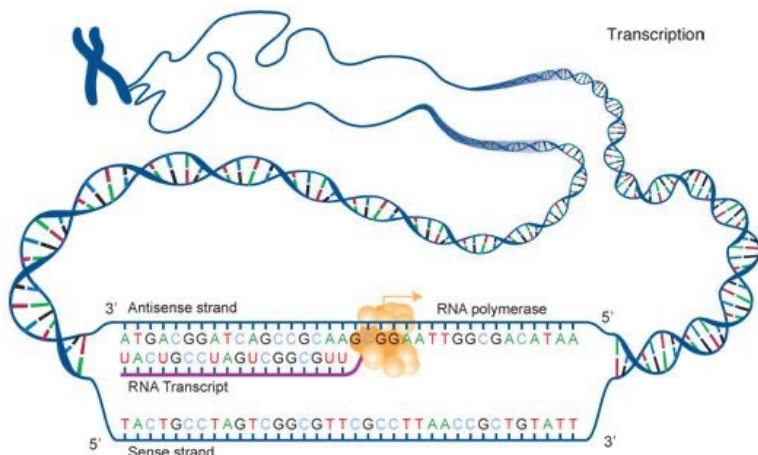
セントラルドグマ

アミノ酸数 2 < ペプチド < 50 < タンパク質
平均分子量 約100



遺伝子情報を読む

(2本のポリヌクレオチド鎖が縊り合っている)



遺伝子情報はDNAの2重鎖 — 3塩基の組み合わせ

DNA: deoxyribonnucleic acid

タンパク質を作るための情報はエクソン(Exon)にある

DNAとRNAは、4種類の塩基を含んでいる

DNA		RNA	
アデニン (A <u>denine</u>)	→ T	→ A	アデニン (A <u>denine</u>)
チミン (T <u>hymine</u>)	→ A	→ U	ウラシル (U <u>racil</u>)
シトシン (C <u>ytosine</u>)	→ G	→ C	シトシン (C <u>ytosine</u>)
グアニン (G <u>uanine</u>)	→ C	→ G	グアニン (G <u>uanine</u>)

Tの代わりにUが使われる

転写の機序

DNA (遺伝子)

転写

mRNA

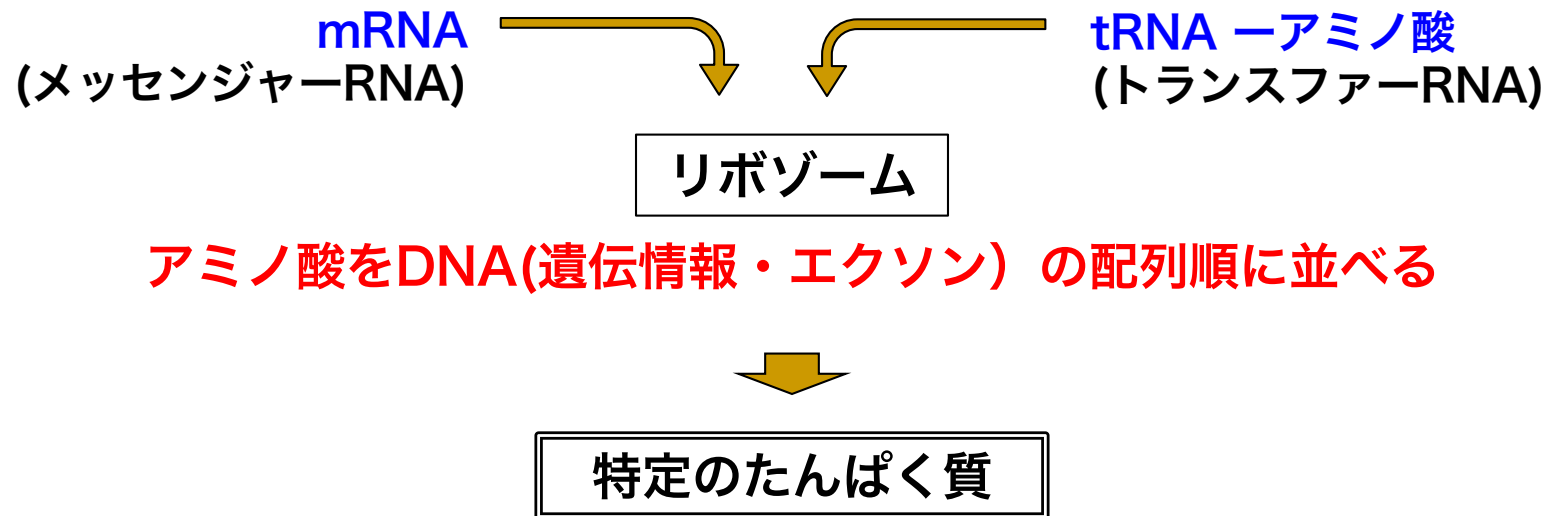
--G-A-A-A-T-T-T-C-C-C-G-G--

--C-U-U-U-A-A-A-G-G-G-C-C--

遺伝子情報はDNAの2重鎖

一 3塩基の組み合わせ

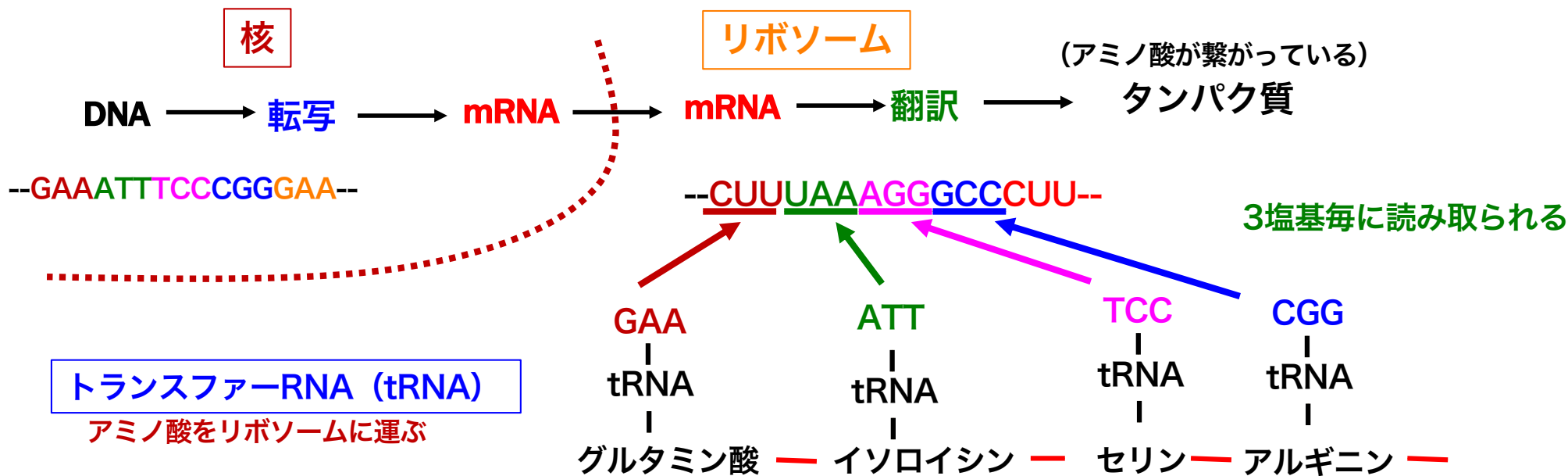
DNAの遺伝暗号表 (いでんあんごうひょう)										
1文字目	2文字目									
	T		C		A		G			
T	TTT	フェニルアラニン	TCT	セリン	TAT	チロシン	TGT	システイン	T	
	TTC		TCC		TAC		TGC		C	
	TTA	ロイシン	TCA		TAA	おわり	TGA	おわり	A	
	TTG		TCG		TAG		TGG	トリプトファン	G	
C	CTT	ロイシン	CCT	プロリン	CAT	ヒスチジン	CGT	アルギニン	T	
	CTC		CCC		CAC		CGC		C	
	CTA		CCA		CAA	グルタミン	CGA		A	
	CTG		CCG		CAG		CGG		G	
A	ATT	イソロイシン	ACT	トレオニン	AAT	アスパラギン	AGT	セリン	T	
	ATC		ACC		AAC		AGC		C	
	ATA		ACA		AAA	リシン	AGA	アルギニン	A	
	ATG	はじまり (メチオニン)	ACG		AAG		AGG		G	
G	GTT	バリン	GCT	アラニン	GAT	アスパラギン酸	GGT	グリシン	T	
	GTC		GCC		GAC		GGC		C	
	GTA		GCA		GAA	グルタミン酸	GGA		A	
	GTG		GCG		GAG		GGG		G	



DNA		RNA
アデニン (A)denine)	→ T →	A
チミン (T)hymine)	→ A →	U
シトシン (C)ytosine)	→ G →	C
グアニン (G)uanine)	→ C →	G

翻訳の機序

DNAの遺伝暗号表（いでんあんごうひょう）									
		2文字目							
		T		C		A		G	
1文字目	T	TTT TTC TTA TTG	フェニルアラニン ロイシン	TCT TCC TCA TCG	セリン	TAT TAC TAA TAG	チロシン おわり	TGT TGC TGA TGG	システイン おわり トリプトファン
	C	CTT CTC CTA CTG	ロイシン	CCT CCC CCA CCG	プロリン	CAT CAC CAA CAG	ヒスチジン グルタミン	CGT CGC CGA CGG	アルギニン
	A	ATT ATC ATA ATG	イソロイシン はじまり (メチオニン)	ACT ACC ACA ACG	トレオニン	AAT AAC AAA AAG	アスパラギン リシン	AGT AGC AGA AGG	セリン アルギニン
	G	GTT GTC GTA GTG	バリン	GCT GCC GCA GCG	アラニン	GAT GAC GAA GAG	アスパラギン酸 グルタミン酸	GGT GGC GGA GGG	グリシン



看護師国家試験問題

実施年	問題文	選択肢	分野と難易度
2006(第95回)	遺伝で正しいのはどれか。	1. 細胞は器官によって異なる遺伝情報を持つ。 2. 3つの塩基で1種類のアミノ酸をコードする。 3. 動物と植物のDNAは異なる塩基を持つ。 4. 遺伝情報に基づき核内で蛋白合成が行われる。	人体の構造と機能 難易度: 基本
2011(第100回)	核酸で正しいのはどれか。	1. mRNAがアミノ酸をリボソームへ運ぶ。 2. DNAは1本のポリヌクレオチド鎖である。 3. DNAには遺伝子の発現を調節する部分がある。 4. RNAの塩基配列によってアミノ酸がつながることを転写という。	人体の構造と機能 難易度: 基本
2013(第102回)	細胞内におけるエネルギー発生や呼吸に関与する細胞内小器官はどれか。	1. ミトコンドリア 2. リボソーム 3. ゴルジ体 4. 小胞体 5. 核	人体の構造と機能 難易度: 応用
2014(第103回)	遺伝子について正しいのはどれか。	1. DNAは体細胞分裂の前に複製される。 2. DNAは1本のポリヌクレオチド鎖である。 3. DNAの遺伝子情報からmRNAが作られることを翻訳という。 4. RNAの塩基配列に基づきアミノ酸がつながることを転写という。	人体の構造と機能 難易度: 基本
2015(第104回)	蛋白質で正しいのはどれか。	1. アミノ酸で構成される。 2. 唾液により分解される。 3. 摂取するとそのままの形で体内に吸収される。 4. 生体を構成する成分で最も多くの重量を占める。	人体の構造と機能 難易度: 基本

組織 tissue

- 細胞は、その役割により形態や性質に違いがある
- 細胞の役割を分化という
- 分化した細胞が個体での役割を果たすために集合した細胞群を組織 (tissue) という

ヒトの体

組織学的分類

- 上皮組織
表面を覆う
細胞同士が密着
- 結合組織
組織を支える
骨・軟骨・脂肪・血管
- 筋組織
伸展に関わる
骨格筋
平滑筋
心筋
- 神経組織
中枢神経（脳・脊髄）
末梢神経
- 水分
血液
骨髄
リンパ(組織間) 液

機能的分類

- 消化器系組織 栄養分・水の吸収・代謝
食道・胃・小腸・大腸
肝臓・膵臓
- 呼吸器系組織 酸素を取入れ二酸化炭素を排出
気管・肺
- 循環系組織 血液を抹消組織に送る
心臓・大血管
- 免疫組織 免疫を担う
脾臓・リンパ節
- 内分泌組織 ホルモン産生
脳下垂体
甲状腺・副甲状腺
副腎
ランゲルハンス島
卵巣・精巣・前立腺
- 外分泌組織
唾液腺・汗腺・脂腺
消化腺
乳腺

組織の基本形

役割

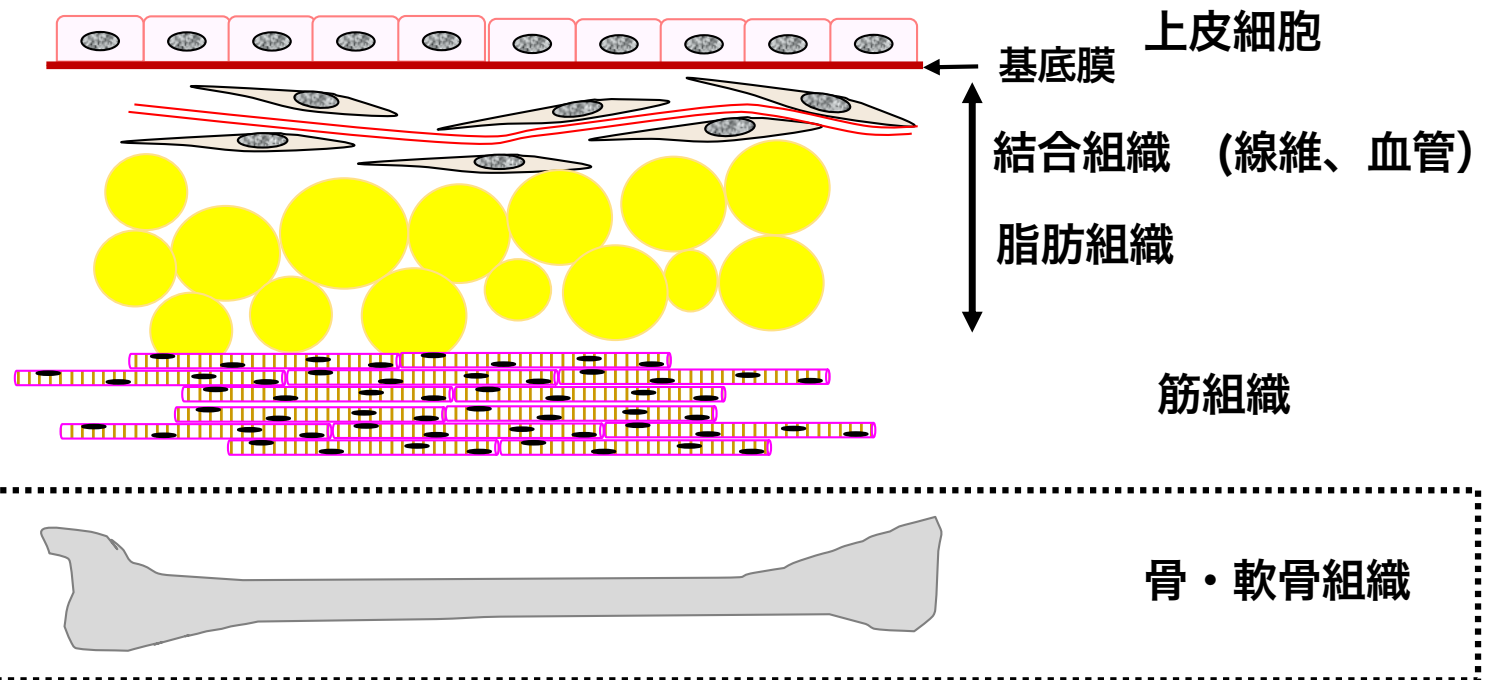
保護・機能

支持・運搬

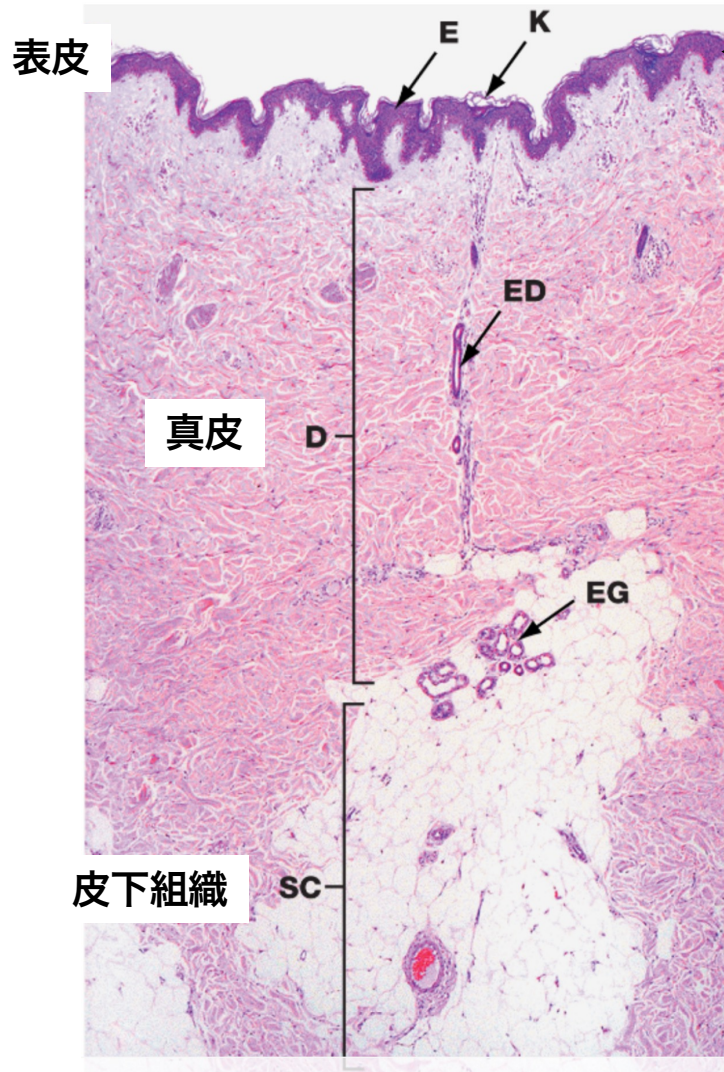
クッション・エネルギー源

運動

支柱（固定）

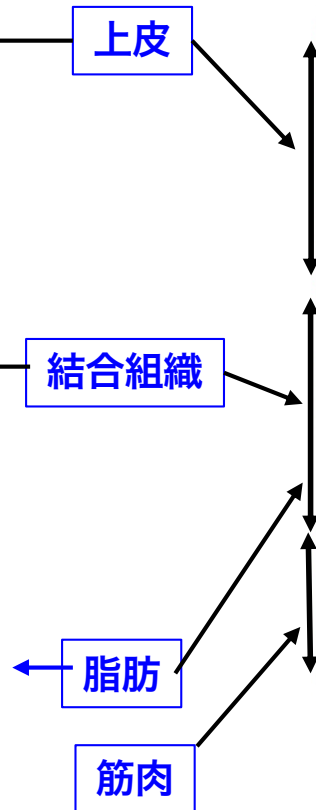
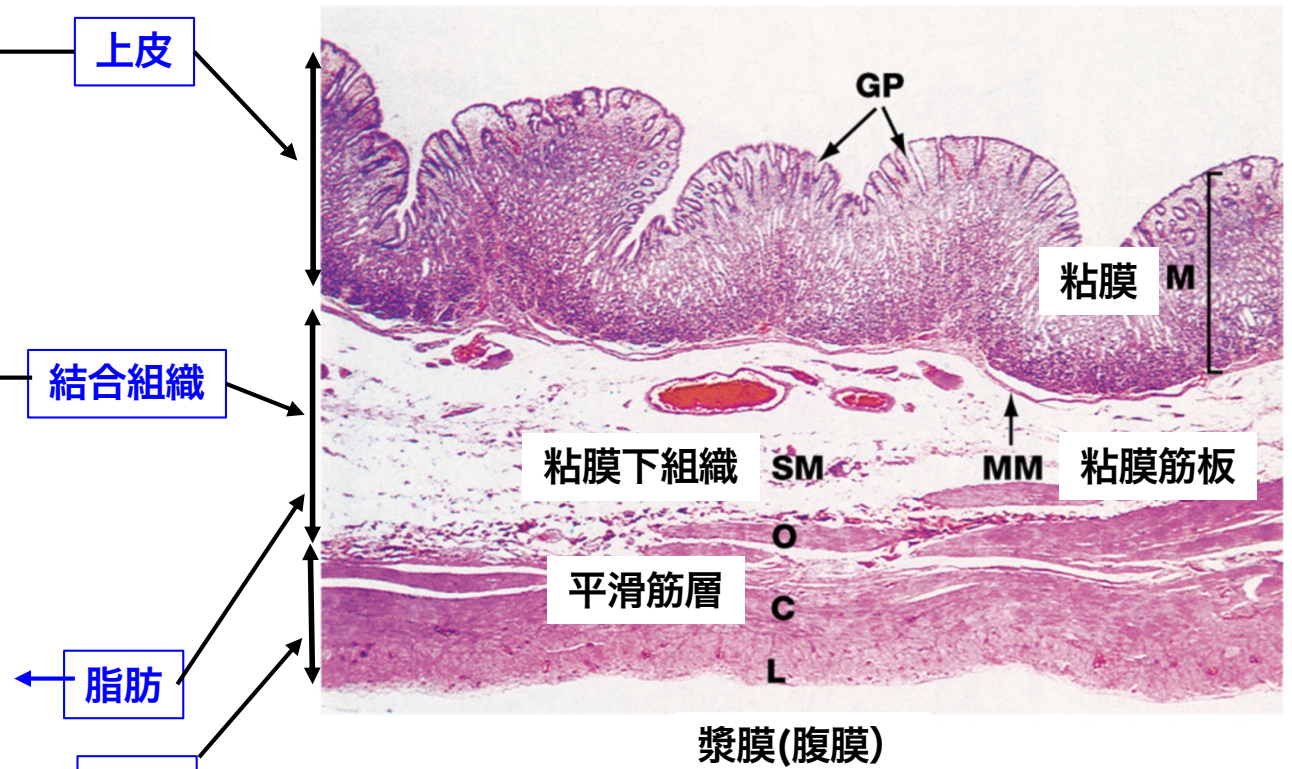


皮膚組織像



(b) H & E ×15

胃組織

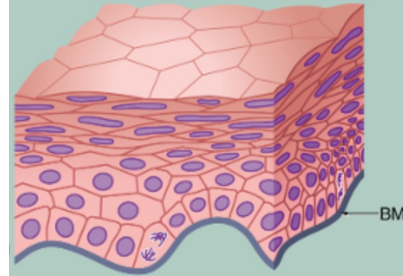


主な上皮細胞

代表的な組織

組織の役割

重層扁平上皮



角化(有)

皮膚

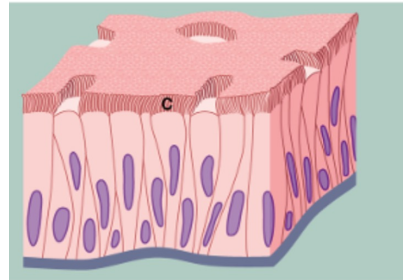
- ・ 防御
- ・ 強靱
- ・ 水分保持

角化(無) 粘膜

口腔・食道・膣

- ・ 滑らか
- ・ 強靱
- ・ 伸展

線毛上皮

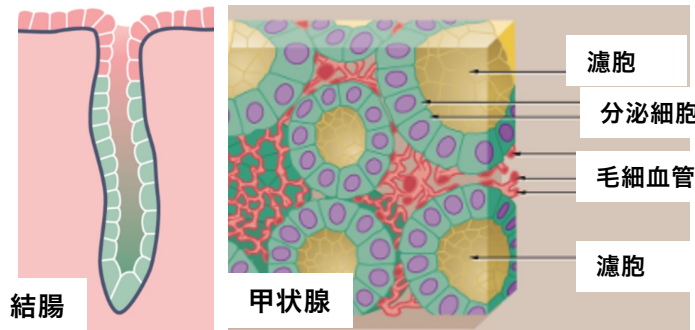


線毛 (有)

気管・気管支

- ・ 運搬

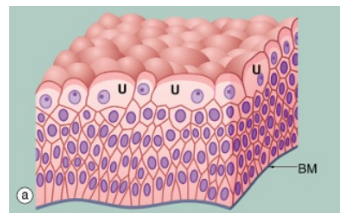
腺上皮
(単層円柱上皮)



消化管
内分泌腺

- ・ 吸収
- ・ 分泌

移行上皮



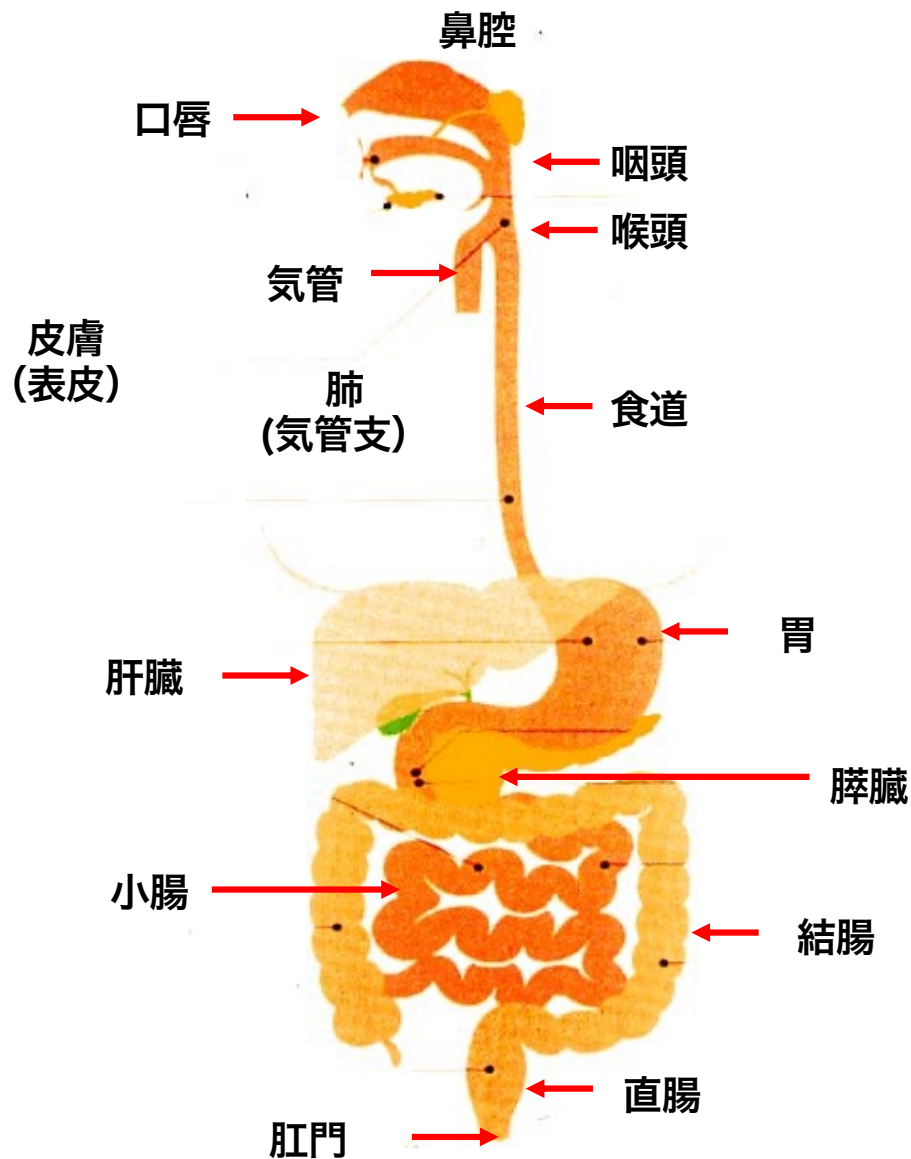
尿管・膀胱・尿道

- ・ 伸展
- ・ 貯蔵

BM: basement membrane(基底膜)

上皮組織

機能を持つ



• 表皮・管腔臓器

• 呼吸臓器

酸素 $\leftrightarrow$ 二酸化炭素

• 実質臓器

肝臓

胆嚢・胆管

膵臓

胆汁

膵液

食物

口腔

食道

胃

十二指腸

小腸

結腸 (大腸)

直腸

肛門

咀嚼

運搬

細分化

消化

栄養分吸収

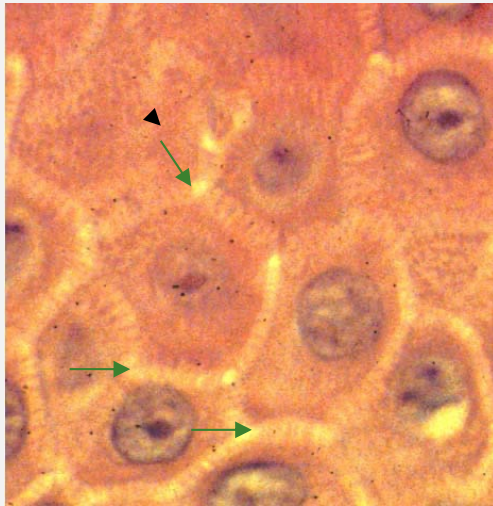
水分吸収

固形化

排泄

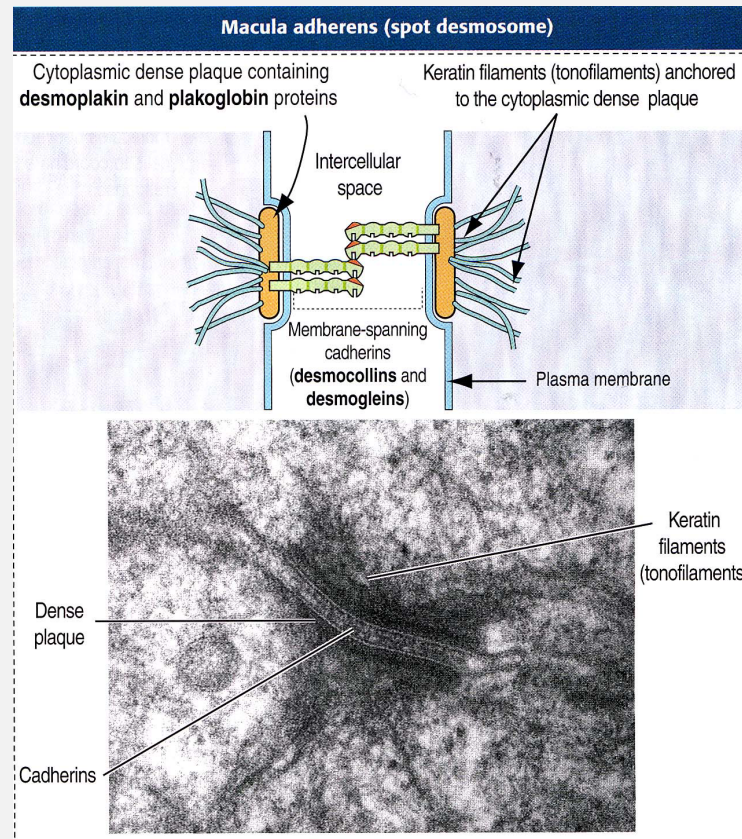
皮膚

重層扁平上皮の特徴 (分化)



1. 層状構造 (Stratification)
2. 角化 (ケラチン)
3. 細胞間橋

デスモゾームと中間系フィラメント

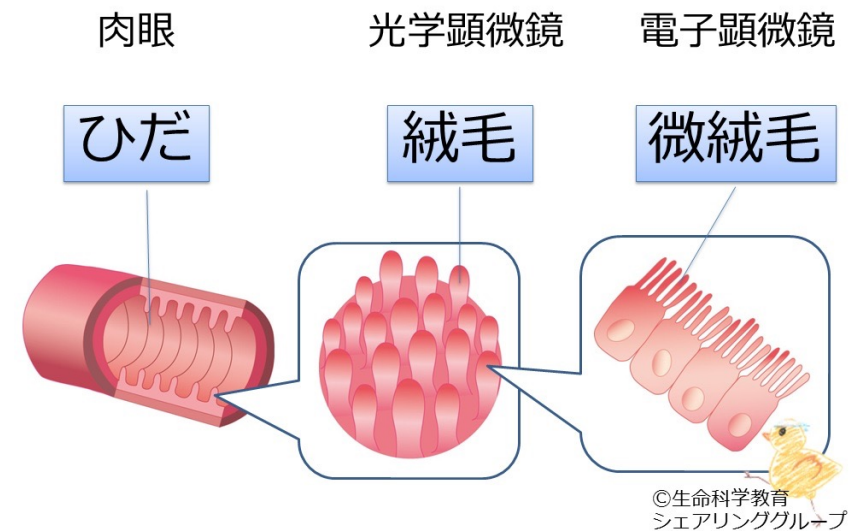
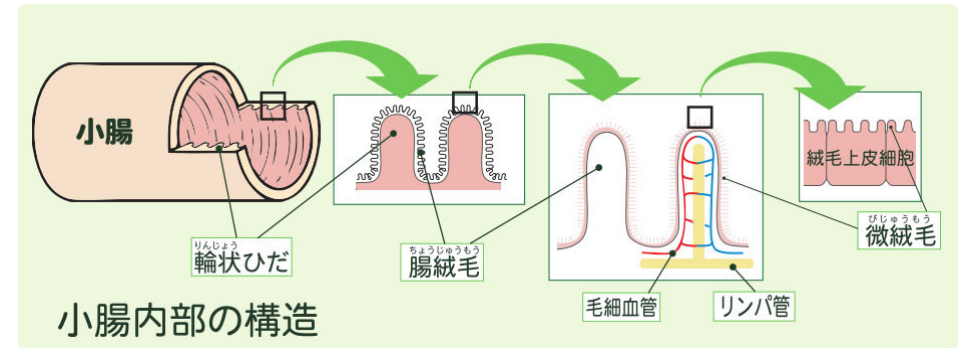
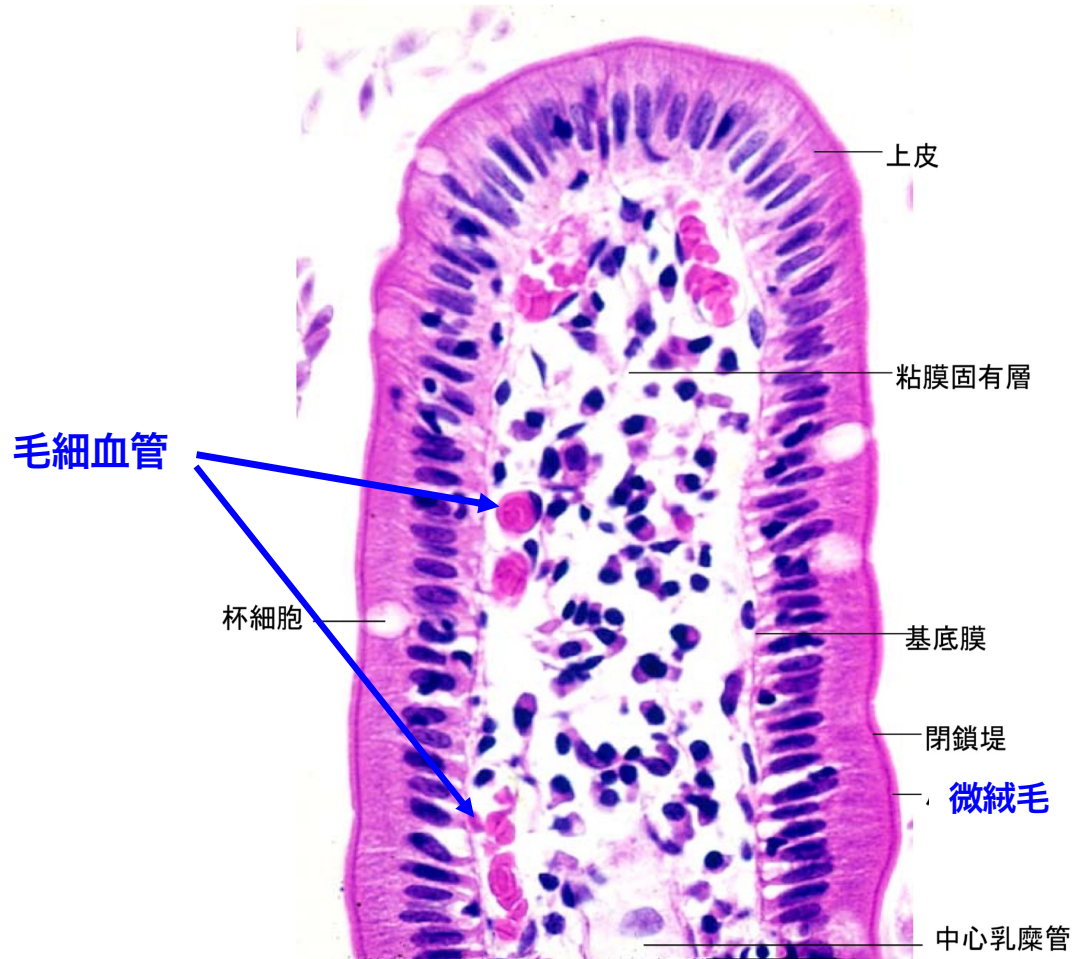


皮膚の働きは何か？

1. 水分喪失防止
2. 外圧に対する抵抗力
 - ① 圧力
 - ② 紫外線
 - ③ 化学物質
3. 保湿
4. 温度調節
5. 静菌作用
6. 免疫反応
7. 経皮吸収作用

細胞同士を強固に繋ぐ

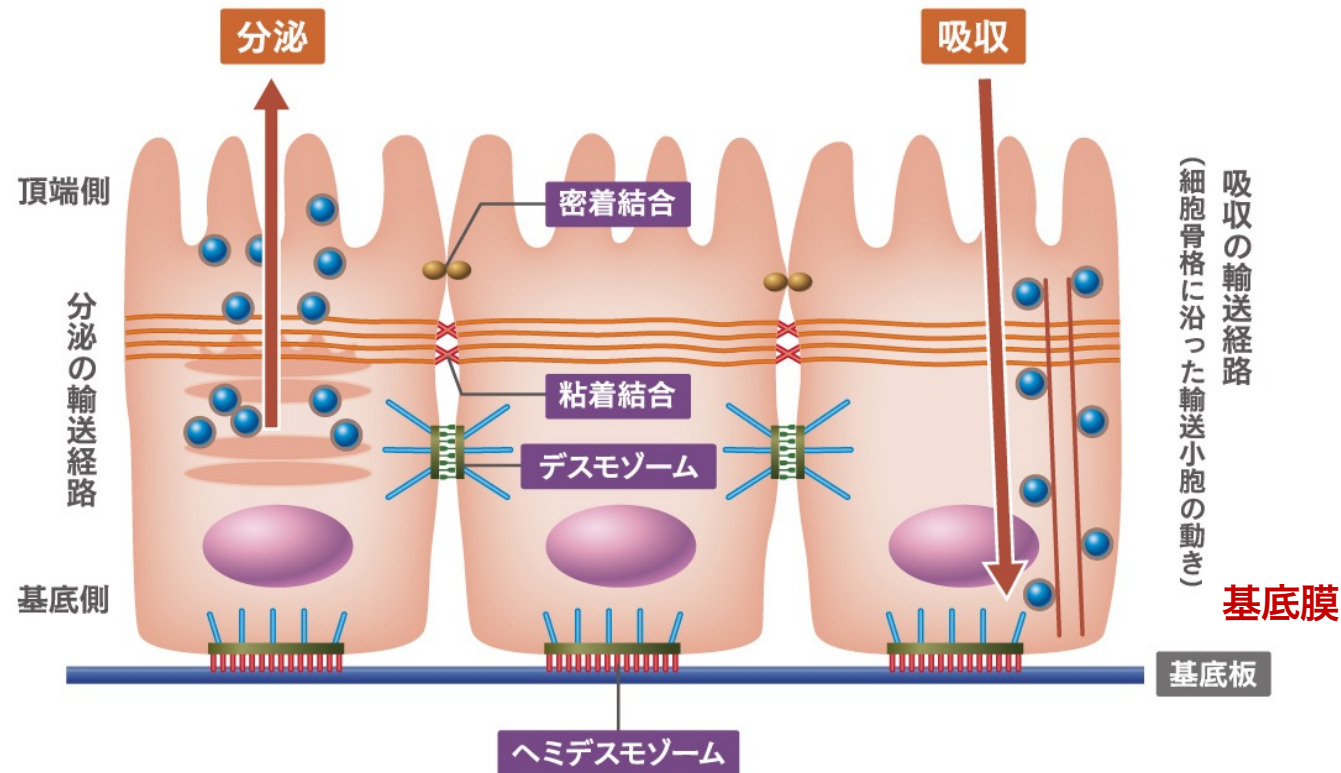
小腸の絨毛



複雑な構造を取っている目的は？

吸収を効率よくするために表面積を増やす
表面積はテニスコート1面分 (30 m²)

消化器の吸収上皮細胞の働き



細胞の極性

細胞内にあるものが、特定の機能を果たすために偏りをもって空間的に配置する



看護師国家試験問題

実施年	問題文	選択肢	分野と難易度
2008(第97回)	皮膚・粘膜と防御機構の組合せで正しいのはどれか	1. 皮膚表面——アルカリ性の皮脂 2. 気道——— 線毛上皮細胞 3. 腸管内———デーデルライン桿菌 4. 尿路———リゾチーム	人体の構造と機能 難易度: 基本
2011(第100回)	外分泌器官はどれか	1. 副腎 2. 胸腺 3. 涙腺 4. 甲状腺	必修問題 難易度: 基本
2013(第102回)	小腸からそのまま吸収されるのはどれか。2つ選べ。	1. グルコース 2. スクロース 3. マルトース 4. ラクトース 5. フルクトース	人体の構造と機能 難易度: 基本
2014(第103回)	食道について正しいのはどれか。	1. 厚く強い外膜で覆われる。 2. 粘膜は 重層扁平上皮 である。 3. 胸部では心臓の腹側を通る。 4. 成人では全長約50cmである。	人体の構造と機能 難易度: 基本
2017(第106回)	単層円柱上皮 はどれか。	1. 表皮 2. 腹膜 3. 膀胱 4. 胃	人体の構造と機能 難易度: 基本
2018(第107回)	小腸で消化吸収される栄養素のうち、胸管を通して輸送されるのはどれか。	1. 糖質 2. 蛋白質 3. 電解質 4. 中性脂肪 5. 水溶性ビタミン	人体の構造と機能 難易度: 基本

細胞適応

進行性病変

細胞あるいは組織の機能が亢進し、形態的变化を伴う病変

(1) 肥大・過形成

(2) 再生・化生

(3) 創傷治癒

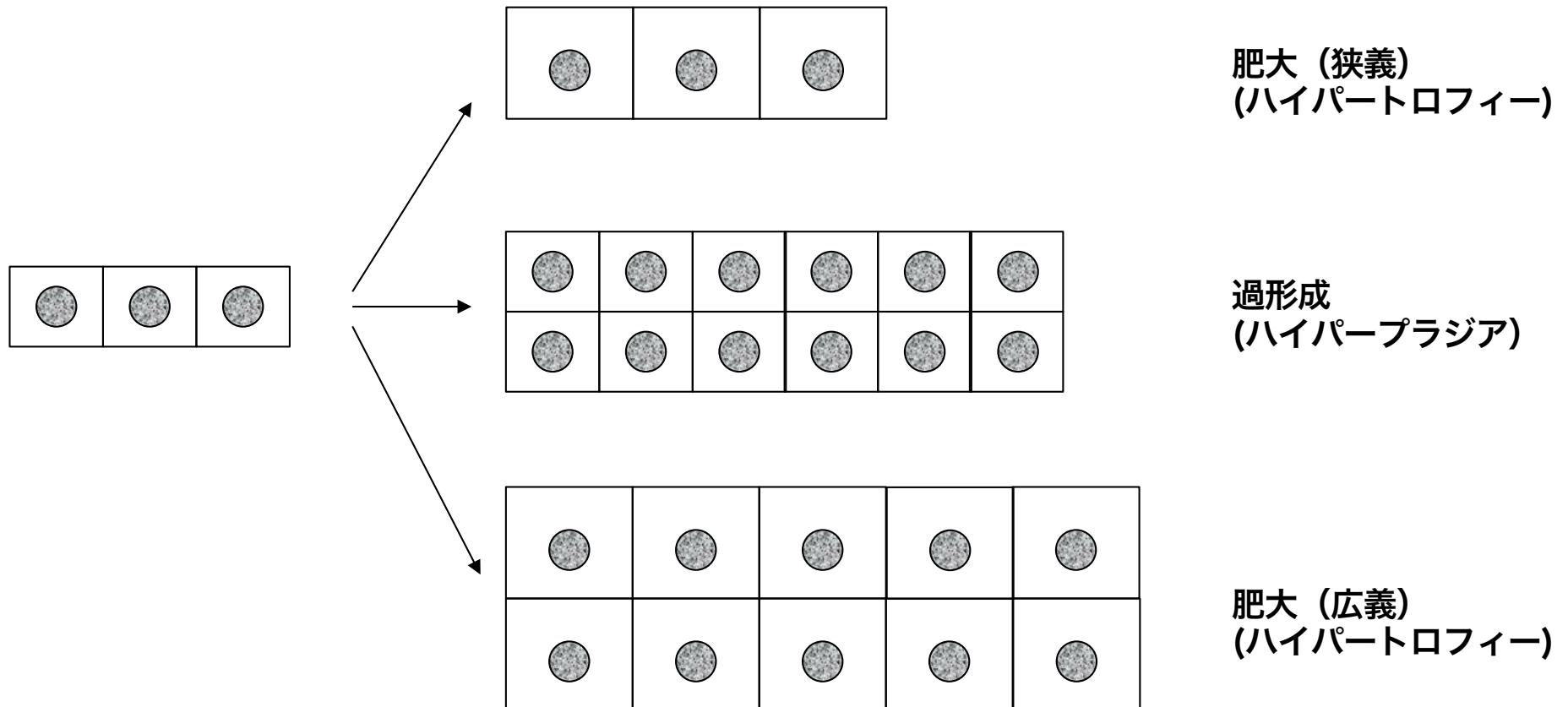
(1) 肥大・過形成

組織・臓器が大きくなる

肥大：細胞数自体は変化せずに細胞の体積増大により容積が増大すること

過形成：細胞数の増加により容積が増大すること

* 実際には肥大と過形成は共存することが多い



生理的肥大

- ・ スポーツ選手の骨格筋
- ・ 妊娠時乳房・子宮

病的肥大

＊作業性(労作性)肥大

- ・ 高血圧症患者の心臓
- ・ たこ

＊代償性肥大

- ・ 片側腎摘出後
- ・ 肝臓の部分切除

＊内分泌性肥大

- ・ 末端肥大症（成長ホルモンの分泌過剰）
- ・ クッシング症候群（副腎皮質ホルモンの過剰分泌）

＊再生性肥大

- ・ 化骨
- ・ ケロイド

＊特発性肥大

- ・ 拡大型心筋症

生理的肥大

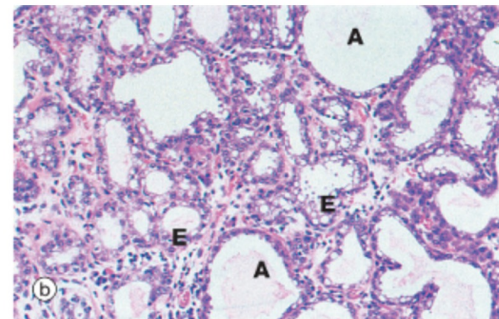
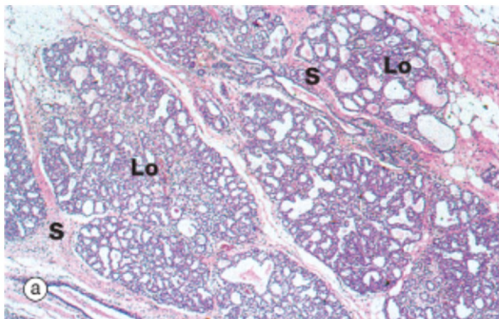
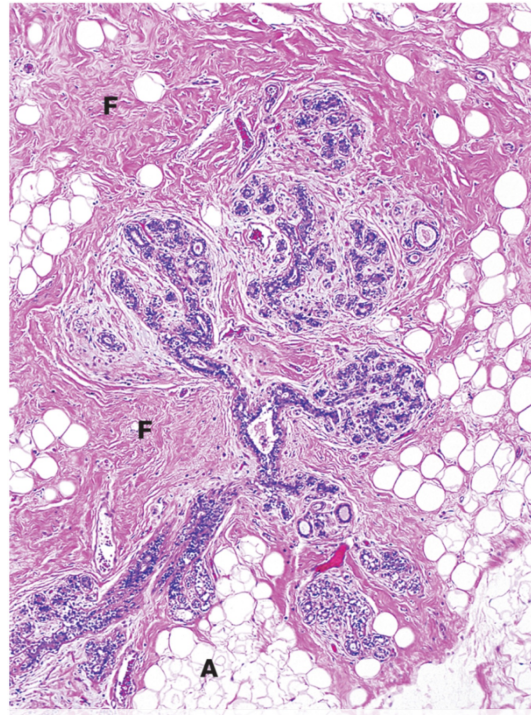
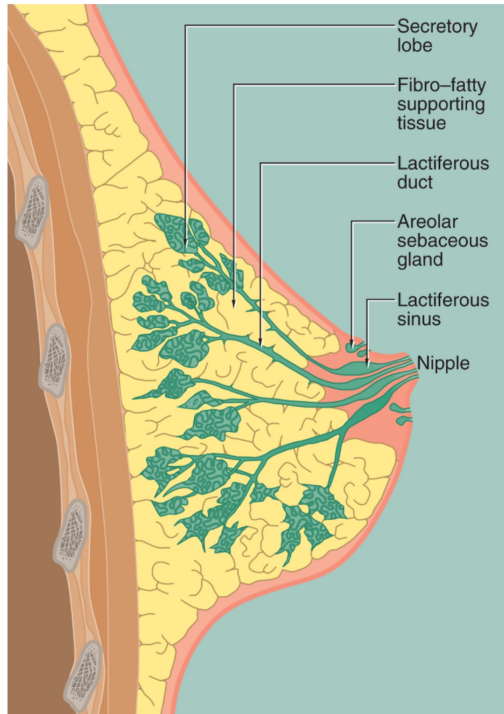
スポーツ選手の骨格筋



Sports Physiquesより

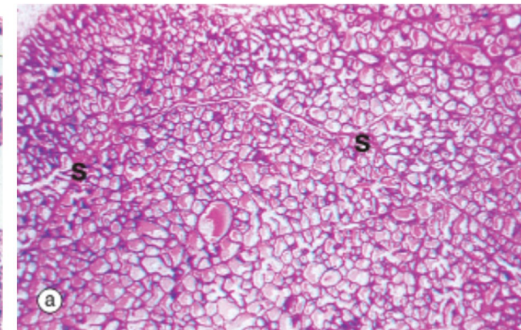
乳房と乳腺

成熟女性乳腺組織

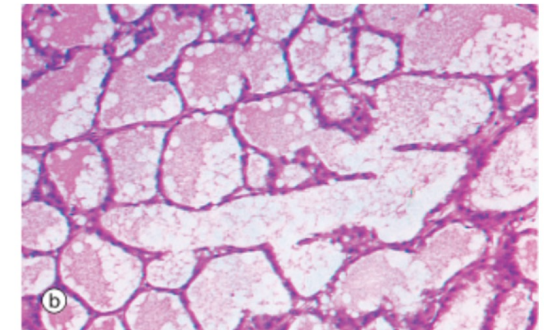


妊娠期の乳腺組織

乳腺細胞が増殖し、管腔が拡大



授乳期の乳腺組織



管腔内に乳汁が貯留

生理的肥大

“たこ”

例：ペンだこ



物理的刺激



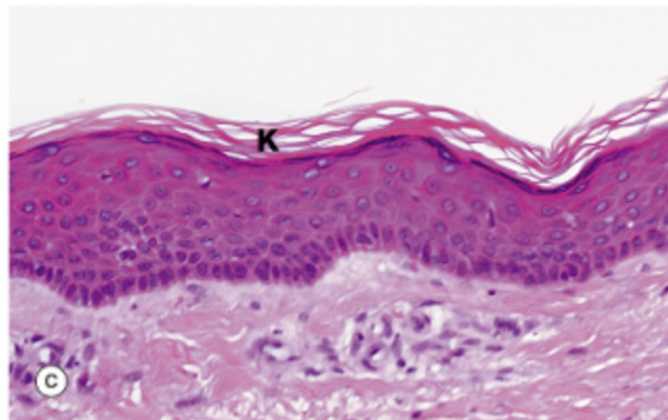
生体反応



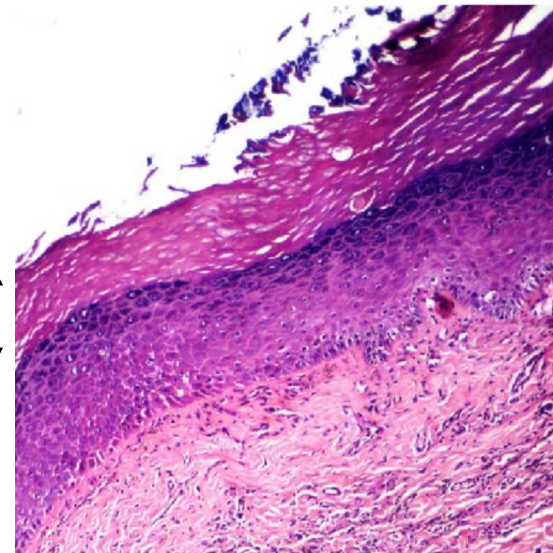
皮膚の角質層の異常増殖したもの
(過形成)



刺激に抵抗し、体をまもるため

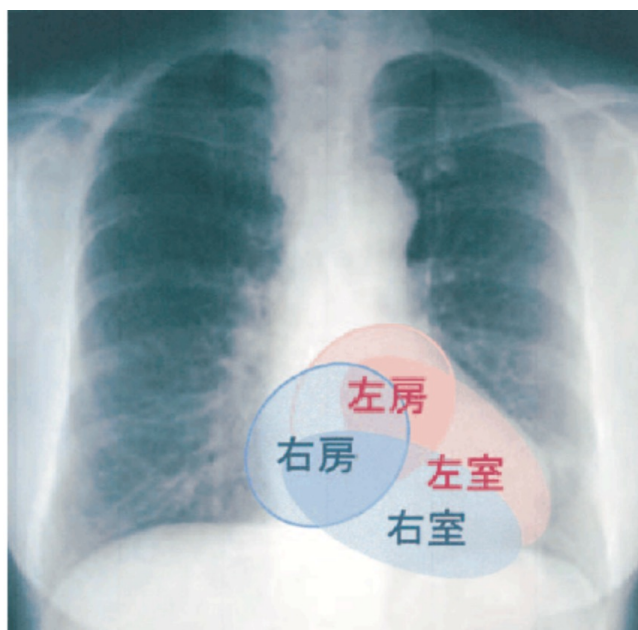


角質層

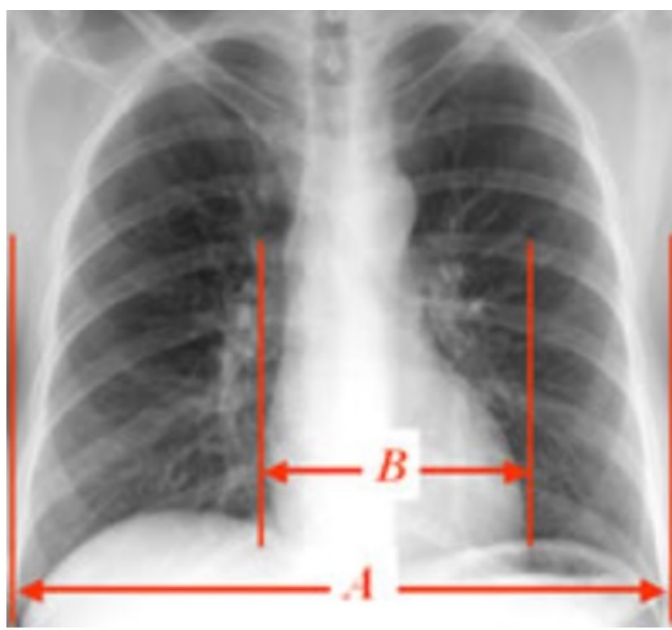


労作（作業）性肥大

心肥大

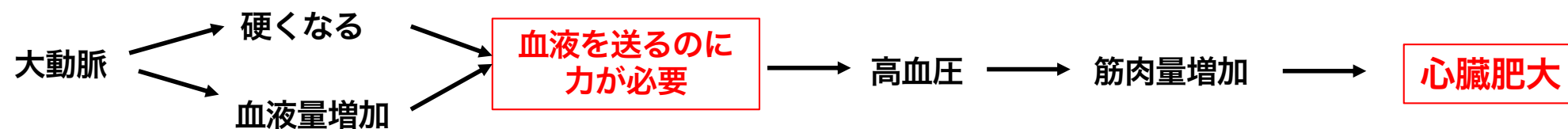


胸部X線像



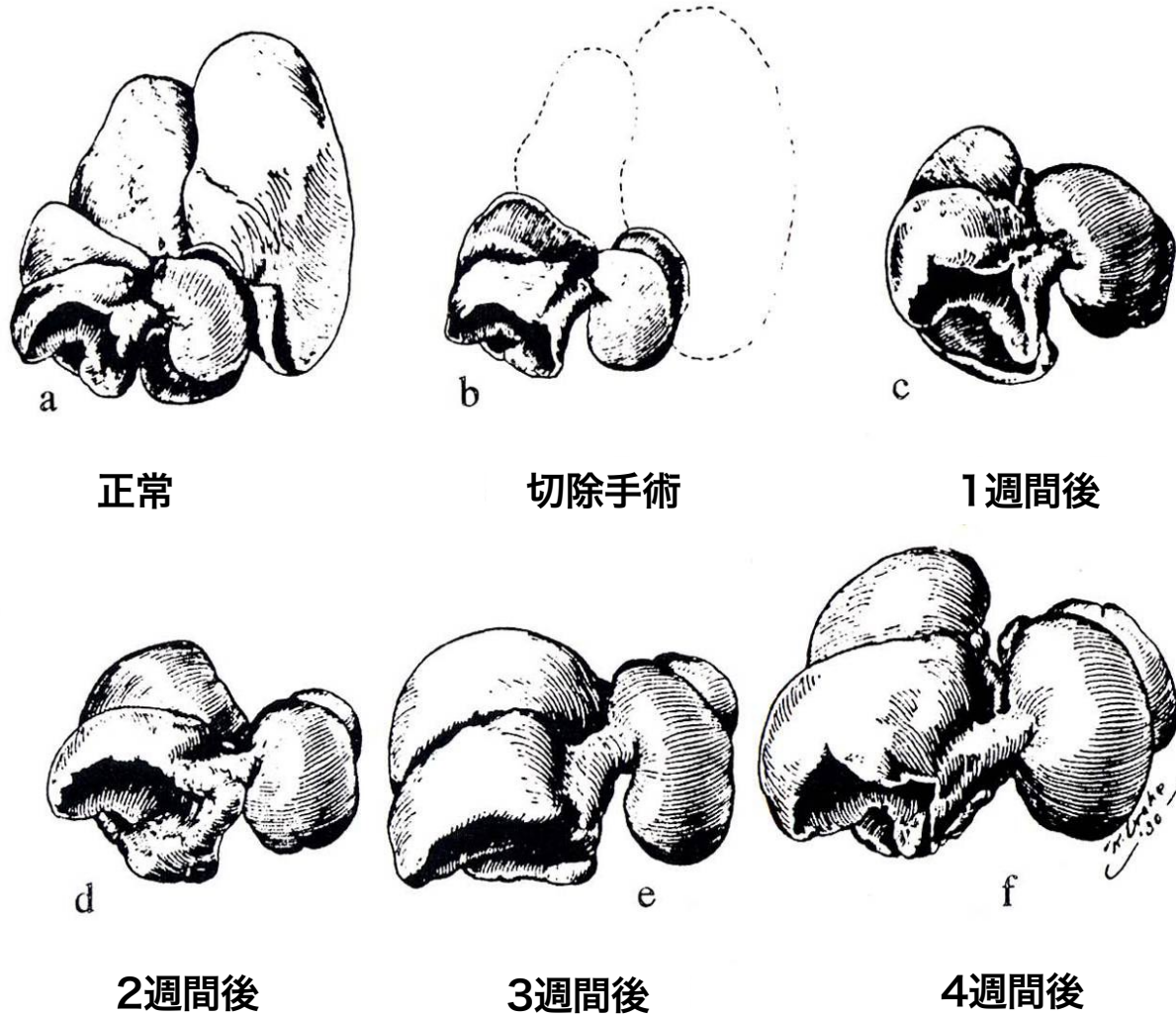
弁膜症患者

弁狭窄
弁閉鎖不全



代償性肥大

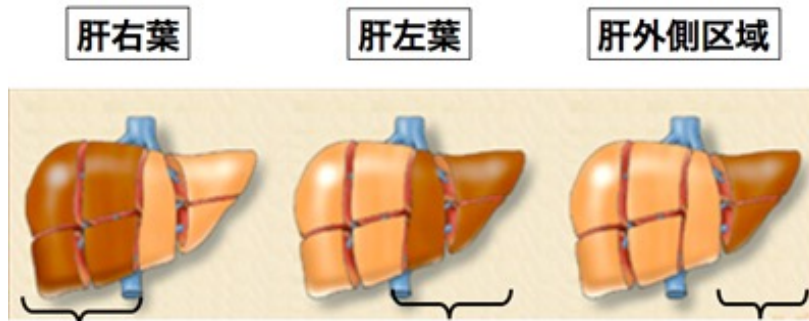
ラット2／3部分肝切除 Partial Hepatectomy (PH)



Higgins & Anderson, Arch Pathol (1931)

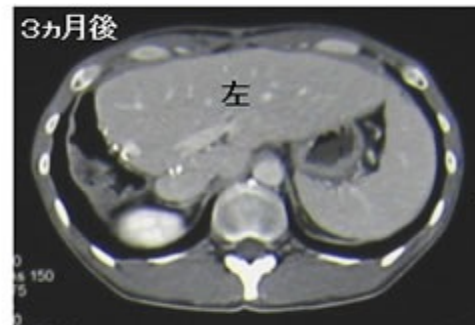
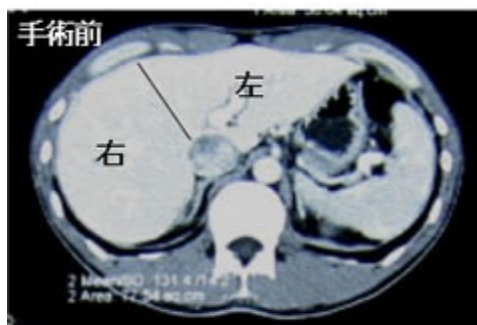
ヒト生体肝移植

手術方法

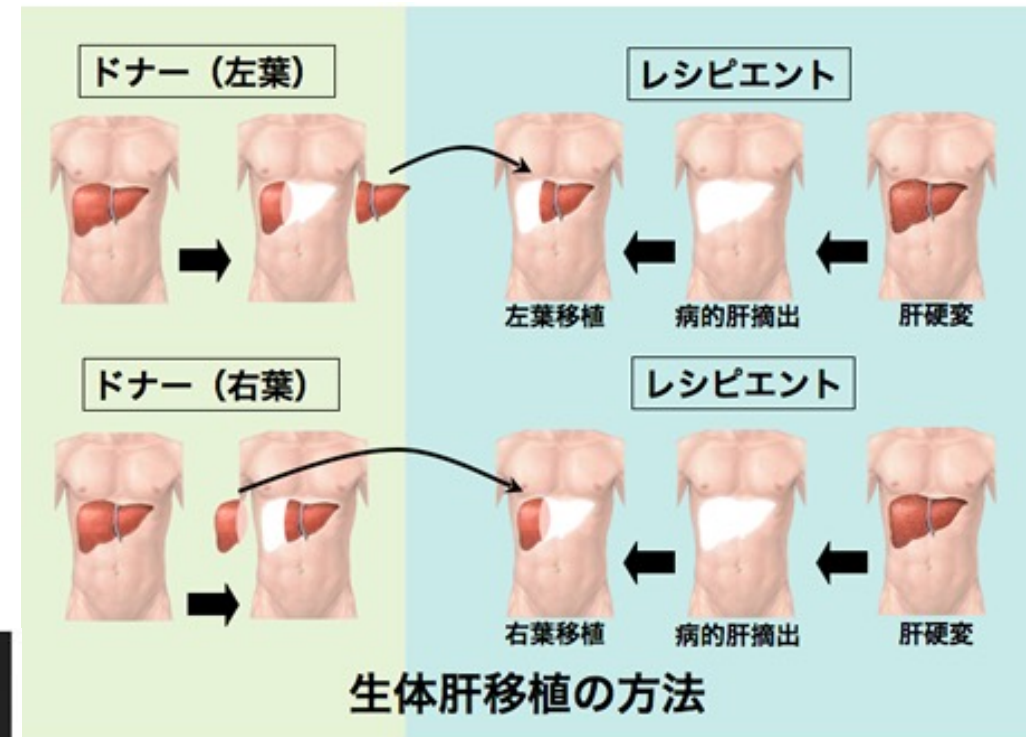


左葉グラフト	36%
右葉グラフト	36%
外側区域グラフト	25%

Donor肝臓の再生



<奈良医大HPより>



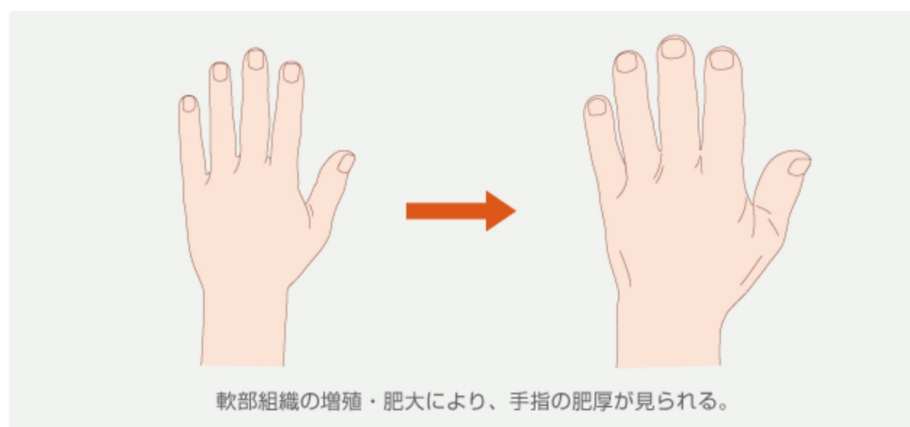
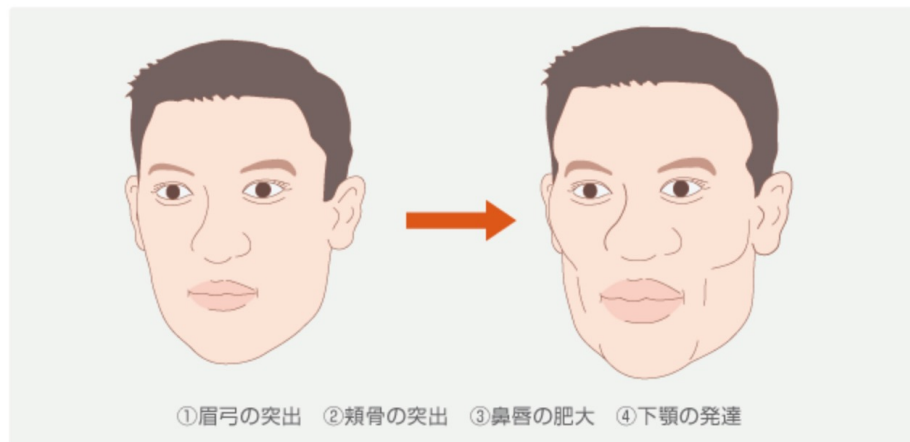
徳島大学外科HPより

内分泌性肥大

先端肥大症

脳下垂体腫瘍（成長ホルモンの分泌過剰）

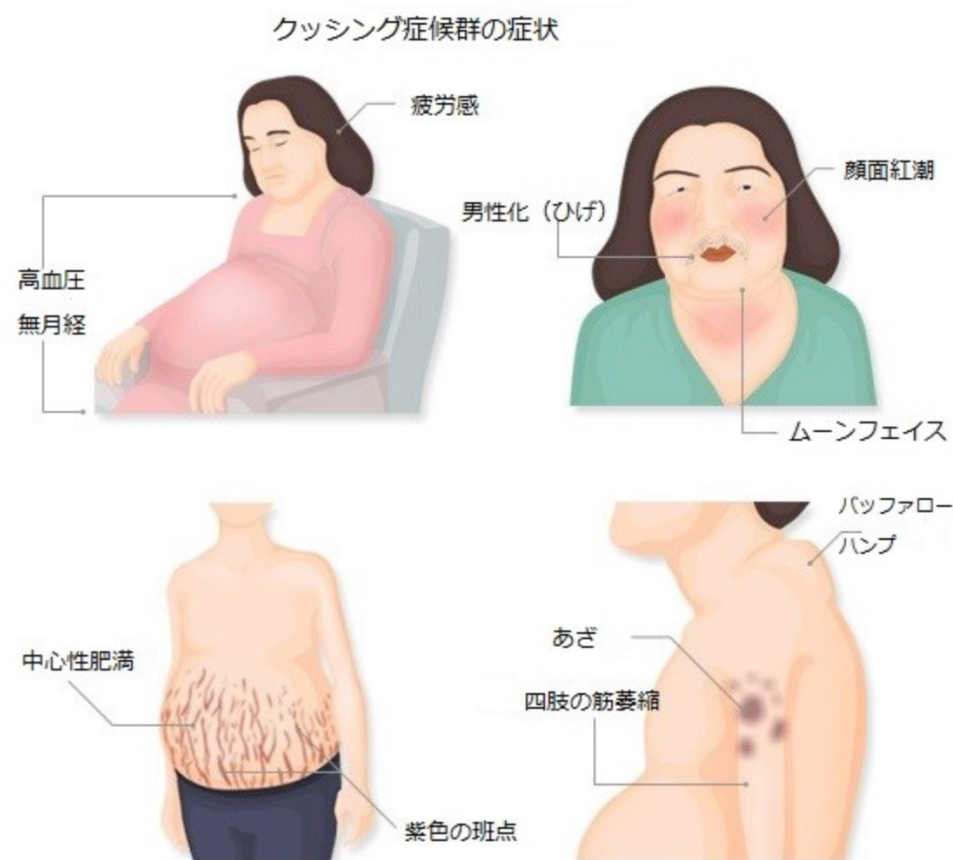
先端巨大症で見られる外見の変化



TEIJINホームページより

クッシング症候群

副腎腫瘍 副腎皮質ホルモンの過剰分泌



再生性肥大

ケロイド(Keloid)

創傷治癒過程で膠原（コラーゲン）線維が過剰に作られることによっておこる

皮膚から盛り上がった腸詰状、線条状の硬い組織（良性線維増殖性病変）

内因性・外因性：

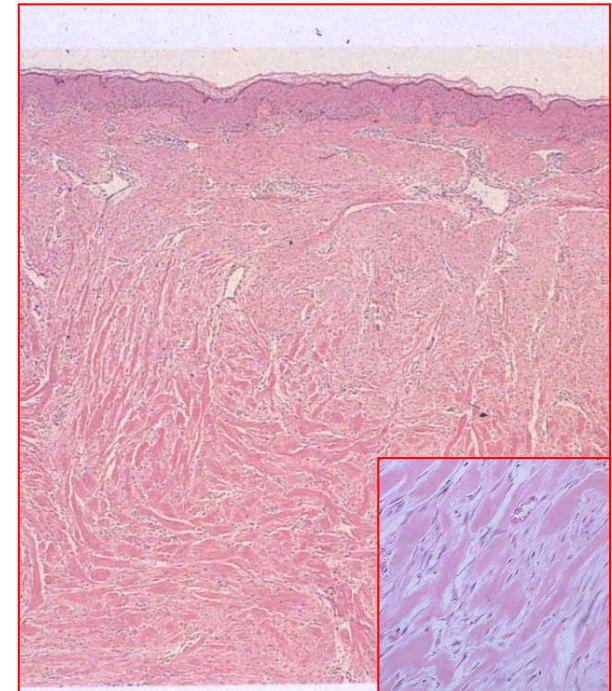
放射線被曝者や若い女性、精巣摘出患者に多い



胸部外科手術跡



ピアース跡

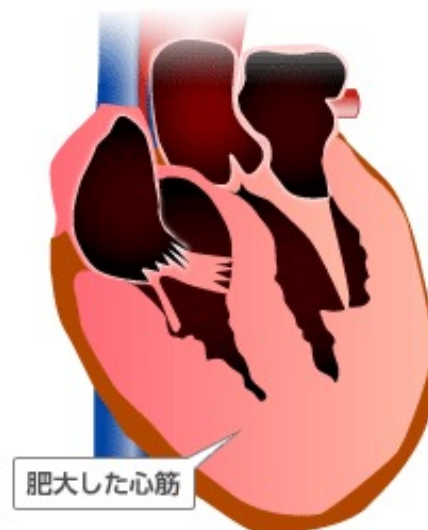


真皮に膠原線維

特発性肥大

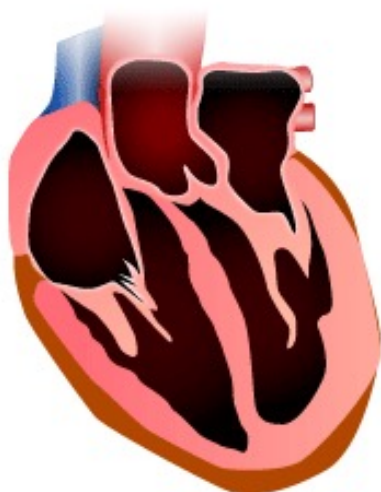


正常な心臓

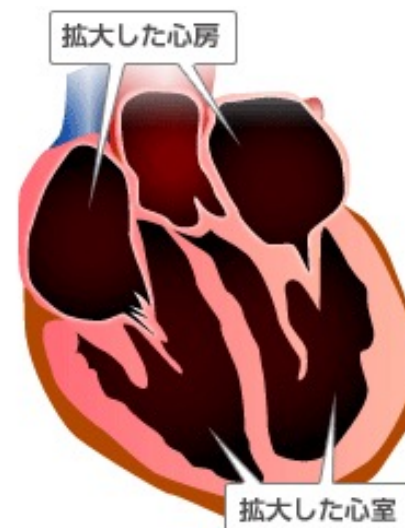


肥大型心筋症

心臓の筋肉が厚くなる



正常な心臓



拡張型心筋症

心筋が薄くなり、心腔が広くなる

難病：治療は心臓移植

再生性肥大

化骨形成

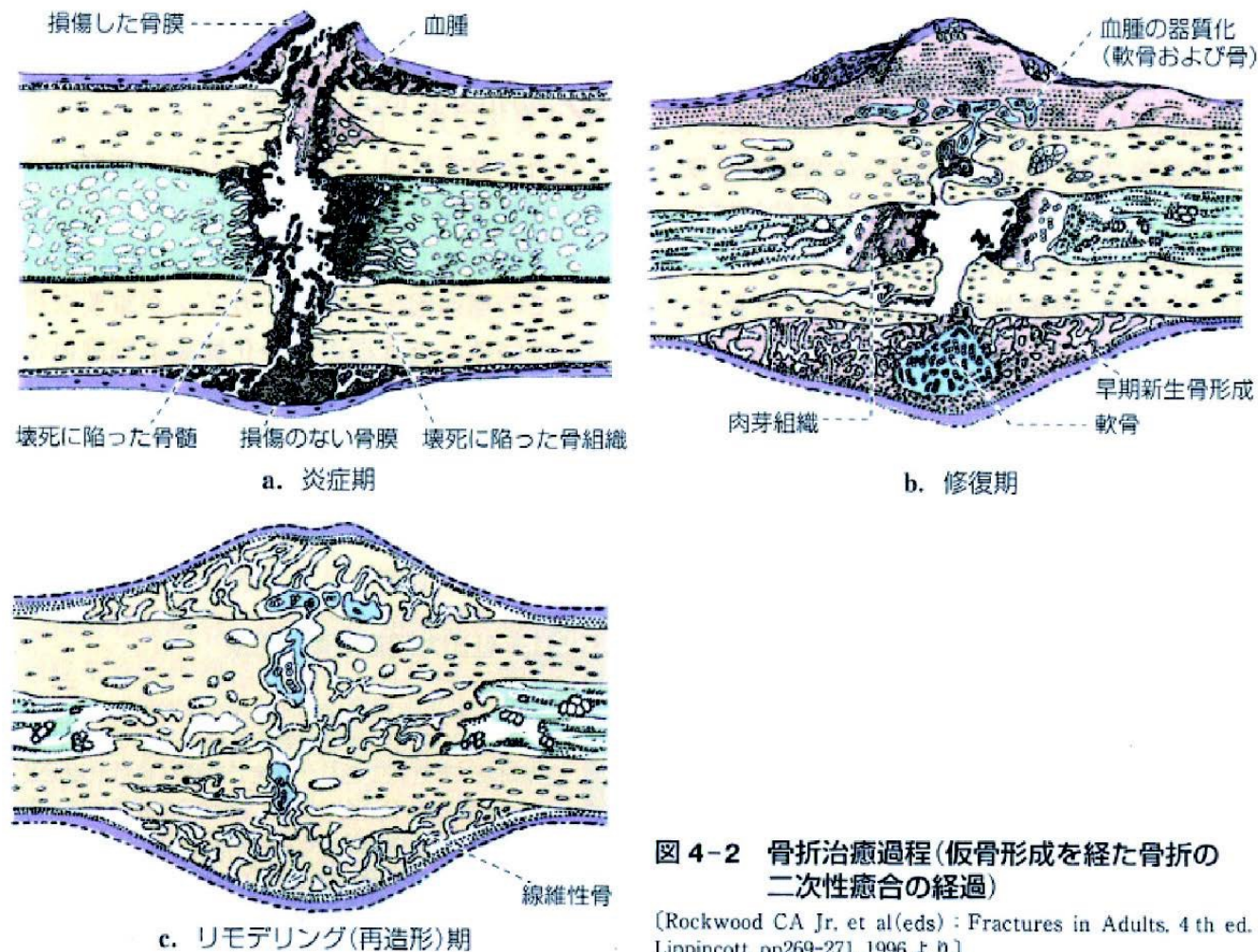


図 4-2 骨折治癒過程(仮骨形成を経た骨折の二次性癒合の経過)

[Rockwood CA Jr, et al(eds) : Fractures in Adults, 4th ed. JB Lippincott, pp269-271, 1996 より]